

病
院
年
報

第
五
十
四
号
(二〇一八年)

川
崎
市
立
川
崎
病
院



病院年報

第 54 号

平成30年度版

川 崎 市 立 川 崎 病 院

川崎市立川崎病院 基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者の皆さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。

病院運営方針

基本理念を踏まえ、自治体病院の使命と役割を果たし、市民に信頼される安全安心で質の高い医療を継続的かつ効率的に提供していくために、次の方針を定めます。

- 1 患者さんの声を尊重し、高い倫理観をもって医療にあたります。
- 2 地域の基幹病院として、地域の医療ニーズに迅速かつ柔軟に対応できる、良質な急性期医療および専門性の高い医療を提供します。
- 3 救急医療、がん診療、周産期医療、災害時医療の充実を図ります。
- 4 地域の医療機関との連携を大切にします。
- 5 教育、研修を推進し、職員の知識、技術の向上と人材育成に努めます。
- 6 安全管理の向上に努めます。
- 7 健全な経営基盤の確立に努めます。
- 8 職員の経営意識の高揚を図るとともに、働きがいのある職場づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は、患者さんの医療にかかわる、次の権利を尊重します。

- 1 生命の尊厳と、人格を尊重した医療を受ける権利があります。
- 2 安全安心で質の高い医療を平等に受ける権利があります。
- 3 ご自身の病気や治療について知る権利を持ち、わかりやすく説明を受け、希望や意見を述べる権利があります。なお、病名や予後について知りたくない場合は、そのお気持ちを尊重します。
- 4 ご自身が受ける医療を自らの意思で選択あるいは拒否する権利があります。
- 5 ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師および他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
- 6 診療上の個人情報 は 厳重に保護され、その秘密は守られます。

患者さんの責務

当院が安全安心で質の高い医療を提供するためには、患者さんご自身にも医療チームの一員として主体的に参加していただく必要があります。そこで、次のことについてご協力ください。

- 1 ご自身の健康に関する情報を、医療提供者にできるだけ詳しくお話してください。
- 2 診療に関し希望されること、またはされないことを、医療提供者にお話してください。
- 3 診療に関する説明がよく理解できない場合は、医療提供者に遠慮なくお聞きください。
- 4 ご自身および他の患者さんが適切な診療を受けるための妨げにならないよう、病院内の規則や社会的なルール、病院職員の指示をお守りください。お守りいただけない場合は、退去していただくことがあります。
- 5 診療に伴う医療費を適正にお支払いください。

患者さんへのお願い

当院は質の高い医療を提供するとともに、明日の医療を担う人材を育成しています。そこで、次のことについてご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 医療の質の向上を目的として調査・臨床研究を行い、得られた結果は個人情報 that 特定されないかたちで公表しています。
- 2 教育研修病院として、研修医、看護師をはじめとする医療従事者の研修、あるいは学生の臨床実習を行っています。

刊 行 の こ と ば

川崎市立川崎病院年報平成 30 年度版の刊行にあたり、関係職員に感謝と祝意をお示ししたいと思います。ありがとうございます、そして、おめでとうございます。私は、平成 31 年 4 月に、病院長として赴任した金井歳雄と申します。この年報は赴任前の一年間の当院の活動報告ということになります。

平成 30 年度の重要なトピックスの一つは、4 月の診療報酬改定で、病床過多が指摘されていた“7：1 基準”（一般病棟 7 対 1 入院基本料）がなくなり、新設の急性期一般入院料 1 に変更になったことです。さらに、看護師配置や重症度・医療看護必要度要件がより緩い入院料 2～7 が設定されました。これにより、国は急性期病床（7 対 1 など）の減少と回復期病床の増加を狙ったわけですが、ほとんどの 7：1 病床は入院料 1 に残り、国の意図通りになっていないようです。もう一つのトピックは、新専門医制度がこの 4 月の医師 3 年生から始まったことです。当院でも、内科、小児科、麻酔科、救急科、整形外科で基幹施設としてのプログラムが設定され、6 名の専攻医の研修が始まりました。初年度は神奈川県など都会の病院には定数にシーリング（上限）がかかり、当院のプログラムも影響を受けました。さらに、医師の働き方改革については、平成 21 年の労基による是正勧告を受けて鋭意、取り組んで来ましたが、時間外勤務の上限規制などが法的拘束力を持って翌平成 31 年度から始まることとなり、まさに本格的働き方改革前夜の年度となりました。

川崎病院に目を向けてみますと、創立時からの公立病院としての使命に加え、最近では高度急性期病院としての機能充実を計って来ております。4 月には、成松病院長の主導による PET-CT の導入と患者総合サポートセンターの開設が実現いたしました。da Vinci による腎癌手術も開始いたしました。また、狭隘な救命救急センターや老朽化した設備の更新等をめざした医療機能再編整備基本計画（平成 30 年 3 月策定）が起動し、エネルギー棟の設計が始まりました。年度末（平成 31 年 3 月）には、内科専攻医の減少による内科入院病床の縮小を余儀なくされました。経営的には、入院・外来診療単価の上昇により、川病単体での黒字は確保したものの、入院患者数・救急搬送患者数の減少、キャッシュの減少などの問題があり、今後もより効率的な運営が必要とされています。そして、3 月には、永らく、川崎病院に貢献された成松病院長が退職されました。

本年度は医療界の荒波にもまれる形での 1 年間でしたが、職員の皆さんの頑張りで乗り切ることができました。本年報には、そのような各部署、各職員の日夜を問わない活動の実績が詰まっています。これらの実績は、必ずや職員それぞれのキャリアアップにもつながっているはずです。

最後になりますが、院外の方からは当院の活動のご評価やご批評をいただければ幸いですし、なにがしかの参考になれば、さらにありがたく思います。



令和元年 8 月

病院長 金井 歳雄

目 次

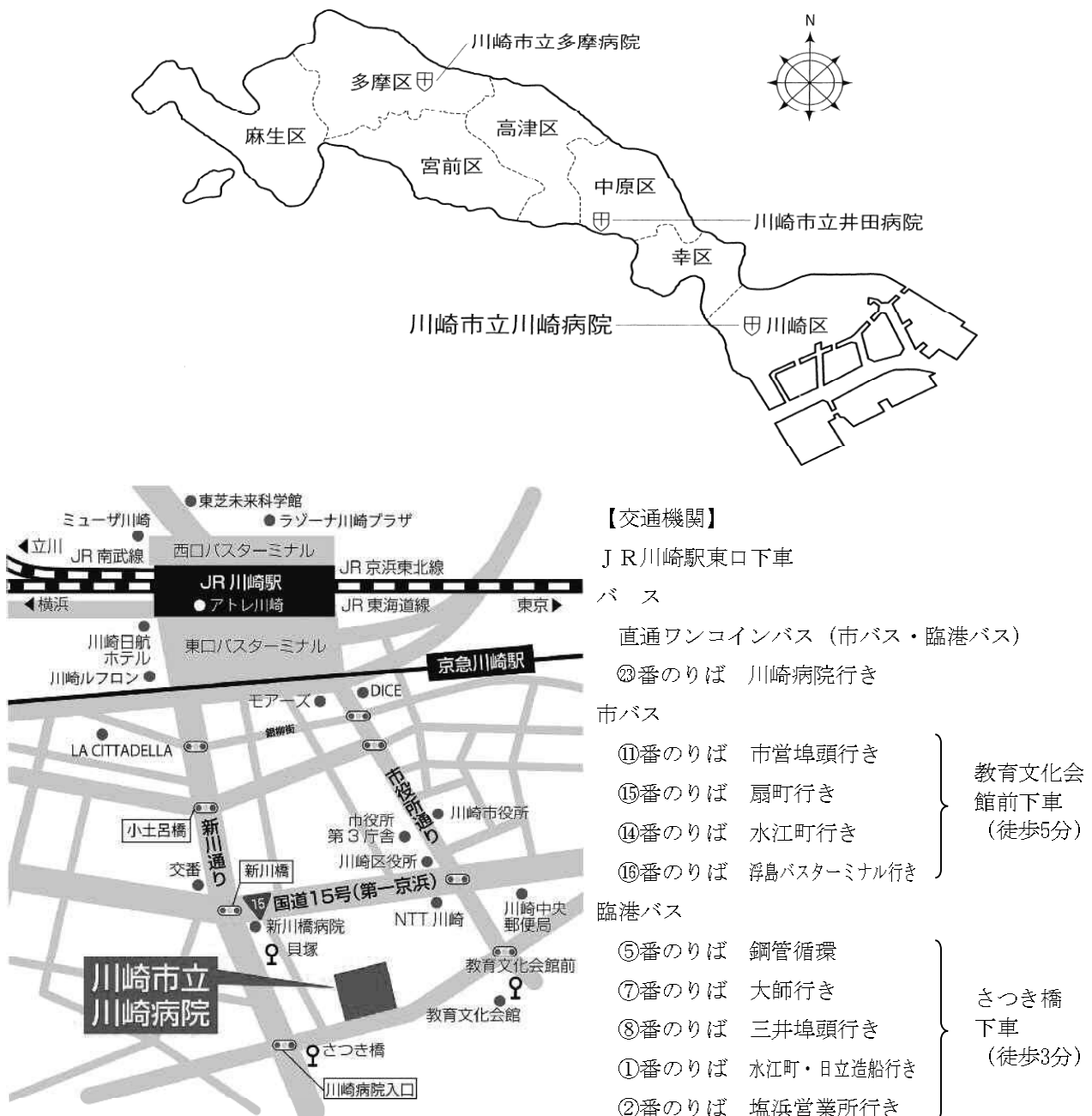
病院の基本理念・病院運営基本方針	1	17 放射線診断科・放射線治療科業務状況	103
患者さんの権利	2	18 リハビリテーション科業務状況	112
患者さんの責務・患者さんへのお願い	3	19 検査科業務状況	114
刊行のことば	5	20 給食業務状況	121
位置及び案内	8	21 栄養指導・NST業務状況	123
川崎市立川崎病院全景	9	IV 経理概要	126
I 沿革	10	1 年度別経営収支状況	126
1 沿革	10	2 収入・支出状況	127
2 人事の変遷	17	3 年度別一般会計繰入金及び出資金	129
II 概要	21	4 比較貸借対照表	129
1 施設	21	5 主な経営分析	131
2 病床数	21	V 研究・研修及び実習・講師派遣	133
3 機構	22	1 診療関係研究	133
4 職員の状況	23	2 院内研究交流会	136
5 主要医療器械・備品	25	3 看護部研究発表会	140
6 主な委託業務	43	4 研 修	143
7 図書室	44	5 院外看護活動	148
8 看護部の概況	47	6 各科別実習状況報告	150
9 患者総合サポートセンター	51	7 講師派遣	152
10 医療安全管理室	60	VI 臨床研修概要	156
11 DMA T活動	62	1 経 緯	156
12 定例院内会議	63	2 初期臨床研修医プログラム	161
III 診療業務概要	66	VII 業績目録	167
1 平成30年度外来患者状況	66	科別業績統計	168
2 平成30年度入院患者状況	67	1 当院における学位取得者	170
3 病棟の利用状況	68	2 賞	170
4 科別収益状況	70	3 研究助成及び共同研究	170
5 地区別新患外来・入院患者数	71	4 書籍の章	170
6 救急患者取扱状況	72	5 論 文	171
7 救命救急センターの業務状況	73	6 学会・研究会	179
8 高度脳神経治療センターの業務状況	74	7 講演会等	196
9 専門外来及び診療相談	75	8 その他	203
10 手術件数	76	9 市民対象イベント（当院主催）	203
11 分娩件数	88		
12 麻酔科及びMEセンター状況	89		
13 内視鏡センター利用状況	92		
14 クリニカルパス使用件数	93		
15 外来治療センター利用状況	93		
16 薬剤部業務状況	94		

位置及び案内

川崎市は、多摩丘陵の南端多摩川の河口に開けた平坦部にあります。東京と横浜の間に接している細長い形の都市で、東京駅へ18分、横浜駅へ7分の距離にあります。

川崎市は、令和元年8月現在で人口が152万人を超え、全国的に人口減少が続く中、特に若い世代に選ばれる都市として、「成長」と「成熟」の調和による持続可能な「最幸のまち」を目指してさらなる発展を続けております。

川崎市立川崎病院は、市の基幹病院として、高度・特殊・急性期医療、救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等の医療を提供するとともに、精神科救急医療の基幹病院としての機能も担っています。また、市内唯一の感染症病床における二類感染症患者の受入や、災害拠点病院、地域医療支援病院、神奈川県がん診療連携指定病院としての役割を担うほか、臨床研修指定病院として医師の育成を行うなど、地域医療水準の向上に寄与しています。





川崎市立川崎病院全景

I 治 革

1 治 革

大正13年 7月 1日	川崎町、大師町及び御幸村の2町1村が合併（市制施行）
昭和 2年 4月30日	明治37年12月28日に設立された伝染病組合病院を川崎市立病院と改称
昭和11年12月16日	伝染病院として、川崎市立病院大規模改築整備の上、開院（院長以下21名、病床数96床）
昭和12年 3月15日	川崎市立新川病院と改称
昭和20年 6月 1日	総合病院に切替え（内科、外科、眼科、産婦人科、歯科及び耳鼻咽喉科の設置）、川崎市立川崎病院と改称
昭和22年 4月 1日	理学診療科の設置
昭和24年 1月 1日	皮膚泌尿器科の設置
昭和26年 7月 1日	小児科の設置
昭和26年11月 1日	婦人科病棟の完成（昭和42年11月北病棟完成に伴い撤去）
昭和27年 3月 1日	伝染病棟改築落成（昭和48年 5月東病棟建設に伴い撤去）
昭和28年 3月 1日	本館起工（第一期、第二期及び第三期工事に分けて施工）
昭和31年 5月 1日	整形外科の設置
昭和32年 8月 1日	総合病院の名称使用許可（昭和23年、法律第205号）
昭和32年12月 1日	厨房及び寄宿舍（第4号館）落成
昭和33年 4月 1日	神経科の設置
昭和33年10月 1日	基準看護（1類）の取得
昭和34年 6月 1日	本館の完成
昭和37年 5月 1日	厚生年金病棟（3号館）の完成
昭和39年 3月 1日	看護婦宿舍が完成
昭和39年 4月 1日	皮膚泌尿器科を皮膚科及び泌尿器科に分離 地方公営企業法の一部適用 川崎市立高等看護学院の実習病院
昭和40年 8月15日	救急病院に指定
昭和42年 4月 1日	研修医制度（3年制）の発足
昭和42年11月27日	北病棟（地下1階地上6階建及び旧2号館）が完成
昭和42年12月 2日	日本小児科学会認定の小児科専門医教育病院
昭和43年 2月 8日	日本内科学会認定の内科専門医教育病院
昭和43年 7月16日	厚生省指定の臨床研修病院
昭和44年 3月31日	放射線治療室の完成
昭和44年 5月15日	児童福祉施設第1種助産施設として認可
昭和45年 1月 1日	消化器科及び脳神経外科の設置
昭和45年 6月10日	日本脳神経外科学会認定の脳神経外科専門医教育病院
昭和45年11月19日	職員厚生会館の完成
昭和46年 4月 1日	麻酔科の設置、産婦人科を産科及び婦人科に分離
昭和46年11月 1日	特殊医療部及び教育指導部の設置

昭和47年 2月 1日	基準看護（特類）の実施
昭和48年 4月 1日	経理課の設置
昭和49年 4月 1日	食養科の設置
昭和49年10月 1日	基準看護（特2類）の実施
昭和50年10月14日	東病棟（旧1号館）の完成
昭和51年 4月 1日	精神科の設置 永年カルテ制度（1患者1病歴制度）の採用
昭和51年 5月 1日	血液センターの設置
昭和51年 6月 1日	中央採血室の設置 施設の名称を本館（旧本館）、1号館（旧東病棟）、2号館（旧北病棟）、 3号館（旧厚生年金病棟）及び4号館（旧教育指導棟）に変更
昭和52年 4月 1日	臨床研修医制度（2年制）の発足 医事課に入院用コンピュータの導入
昭和52年 5月 1日	1号館5階感染症病棟の開設
昭和52年10月 5日	I C U開設準備室の開設
昭和52年10月31日	腎センターの開設
昭和53年 4月 1日	病院事業部の設置に伴い経理課を廃止 看護師を初めて採用 病院群輪番制運営事業参加
昭和53年 6月28日	1号館3階総合病棟の開設
昭和53年 9月11日	I C U準備室をI C U病棟として開設
昭和53年11月 1日	医事課に外来用コンピュータの導入
昭和54年 3月31日	日本病理学会の認定病院
昭和54年 5月 2日	本館内科病棟の名称を内科西病棟及び内科東病棟に変更 3号館内科病棟を休床して本館内科東病棟に移転
昭和54年 5月15日	1号館4階総合病棟の開設
昭和54年10月 2日	日本外科学会の認定医修練施設
昭和55年 1月 1日	日本麻酔学会の認定指導病院
昭和55年 4月 1日	看護科病棟部門の週44時間体制
昭和56年 6月 1日	病床数を733床（一般683、伝染50）に変更
昭和58年 4月11日	日本整形外科学会の認定医制度研修施設
昭和58年10月 1日	日本眼科学会の専門医研修施設
昭和59年 4月 1日	食養科調理部門の週48時間体制
昭和60年 1月 1日	日本消化器外科学会の専門医修練施設
昭和60年 1月 1日	副院長2人制の導入
昭和60年 1月19日	日本耳鼻咽喉科学会の専門医研修施設
昭和61年 4月 1日	日本泌尿器科学会の専門医教育施設
昭和62年 4月 1日	日本皮膚科学会の認定医研修施設
昭和63年 3月29日	外国医師又は外国歯科医師の臨床修練指定病院
昭和63年 4月 1日	日本産婦人科学会の認定医制度卒後研修指導施設

昭和63年 6月 1日	基準看護（特3類）を小児科病棟で取得
昭和63年 9月 1日	基準看護（特3類）を産科及び分娩病棟で取得
平成元年 4月 1日	看護部制の実施 臨床クラーク業務の委託
平成 2年12月 1日	基準看護（特3類）を取得 本館総合病棟、1号館4階小児病棟、1号館4階未熟室、1号館4階総合病棟、2号館4階外科病棟、2号館5階病棟及び3号館婦人科病棟で取得
平成 3年 4月 1日	在宅ねたきり患者処置指導管理の取得 看護の日・看護週間の制定
平成 3年 5月 1日	在宅酸素療法指導管理の取得
平成 4年10月 1日	電動ギャッジベッド100台導入。その後順次導入
平成 5年 3月21日	完全週休2日制に伴い第2土曜日及び第4土曜日外来診療全科の休診
平成 5年 4月 1日	理学診療科を放射線科に変更
平成 6年 3月27日	完全週休2日制に伴い全土曜日外来診療全科の休診
平成 6年 4月 1日	心臓血管外科の設置
平成 6年10月 1日	新看護2対1（A）看護の取得（全病棟） 医事業務の全面委託
平成 6年11月 1日	夜間勤務看護（加算）の取得
平成 7年 3月 1日	新設された看護短大へ看護専門学校を移転
平成 7年 4月 1日	在宅医療部の設置 管理当直業務の委託
平成 7年 6月 1日	適時適温給食の開始
平成 7年 7月 1日	看護専門学校及び看護宿舍の解体開始
平成 7年 7月19日	新病院建設着工
平成 7年10月11日	自走式二階建駐車場の設置（収容62台）
平成 7年12月14日	新病院建設起工式
平成 8年 4月 1日	事務室から事務局に改変 助産師職認定
平成 9年 1月10日	新病院立柱式
平成 9年 3月 1日	リハビリテーション科の設置
平成 9年 3月31日	看護専門学校の閉校
平成 9年 4月 1日	リウマチ科及び歯科口腔外科の設置 副院長3人制に変更 移転準備担当の設置 衛生局から健康福祉局へ機構改革
平成 9年12月18日	新病院の上棟式
平成10年 3月20日	神奈川県知事から災害医療拠点病院の指定
平成10年 4月 1日	呼吸器科、呼吸器外科、総合診療科及び感染症科の設置 在宅医療部から地域医療部へ名称変更

	特殊医療部が発展的解消
平成10年 4月 1日	食養科（特食以外）業務の委託 中央器材室滅菌消毒業務の委託 補修室縫製等業務の委託 中央監視室（受電・空調・ボイラー）業務の委託
平成10年 7月15日	日本プライマリ・ケア学会の認定医研修施設
平成10年10月21日	新病院病棟・中央診療棟完成
平成10年11月 1日	物流管理（S P D）・滅菌消毒・ME（医療器機中央管理）業務の委託 管理系施設管理業務の委託 ハウスキーパー業務の委託 検体系検査（医化学・血清・一般・血液）業務の委託
平成10年11月10日	病棟・中央診療棟竣工式
平成10年11月24日	病棟・中央診療棟開設 新棟にて病棟及び一部外来の運用開始 病床種別（一般683床、伝染30床、精神20床）を変更 医療情報システム（HUMAN）稼働 9階北病棟に精神科病棟（20床、新看護3対1（A）・6対1看護補助）の開設
平成10年12月25日	インターネット上に川崎病院ホームページ開設 （ http://www.city.Kawasaki.jp/35/35kawsyo/home/index.html ）
平成11年 1月 1日	N I C U（新生児特定集中治療室）開設（平成13年1月辞退）
平成11年 2月 1日	川崎南部訪問看護ステーション（川崎市看護協会）を院内に設置
平成11年 4月 1日	副院長2人制に変更 標榜科目から神経科を削除 電話交換業務の委託
平成11年 5月 1日	リハビリテーション科で作業療法を開始
平成11年 6月 1日	9階精神科病棟20床から38床へ病床数の変更
平成11年 7月 1日	リハビリテーション科で言語療法を開始
平成11年10月26日	薬剤科で無菌製剤処理の実施
平成11年12月 1日	日本消化器内視鏡学会の認定指導施設
平成11年12月21日	遠隔医療協力モデル事業（川崎市及び慶應義塾大学医学部）の記者発表
平成12年 3月30日	川崎市立川崎病院外来病棟の竣工式
平成12年 3月31日	井田病院が研修指定病院となったため、川崎病院が従病院となる
平成12年 4月 1日	病院移転担当（庶務課主幹）の廃止 看護助手業務の委託 9階精神科病棟、精神保健及び精神障害福祉に関する法律第19条の8の規定に基づく指定病院（4床設置）
平成12年 4月24日	外来診療部門の全面オープン
平成12年 5月 1日	8階小児科病棟（小児科46床、未熟児室14床）の病床数変更
平成12年 5月 7日	14階南（内科）病棟のオープン

平成12年 6月 1日	神奈川県精神救急医療事業の基幹病院
平成13年 1月21日	脳死判定による臓器摘出手術の実施
平成13年 3月30日	外構工事完了
平成13年 3月30日	川崎市立川崎病院の基本理念建立除幕式
平成13年 4月 1日	新病院完成
平成13年 4月 1日	有料駐車場（駐車台数202台）のオープン
平成13年 4月 2日	川崎駅－川崎病院間の直通ワンコインバスの運行開始
平成14年 3月 1日	産婦人科で体外受精による治療の開始
平成14年 4月 1日	川崎病院組織改革 内視鏡室、血液透析室、救急部及び小児急病センターを新設 地域医療部及び医療相談室が医事課へ移管 地域医療部及び訪問看護部門が看護部へ移管
平成14年 4月 9日	精神科救急24時間体制の開始
平成14年 4月15日	川崎病院内に小児急病センターの開設
平成14年12月 1日	院内駐車場保守業務の委託
平成15年 4月 1日	川崎病院の機構改革 院外処方の開始 食養科調理業務の全面委託 看護助手業務の全面委託 ナースキャップの廃止
平成15年 4月 6日	薬剤師、臨床検査技師及び放射線技師の勤務が変則勤務体制に変更
平成15年 7月 1日	「患者さんの権利」及び「患者さんへのお願い」を制定
平成15年 8月 1日	受動喫煙を防止する法律（健康増進法）の施行に伴い、院内禁煙
平成15年10月20日	川崎病院通信「くすの木」創刊号発行
平成15年12月 2日	重症急性呼吸器症候群（SARS）搬送訓練
平成16年 2月17日	医療安全管理室の設置
平成16年 4月 1日	副院長3人制に変更
平成16年 9月 1日	1階外来飲食コーナーの設置
平成16年10月17日	病院機能評価受審
～19日	
平成17年 3月23日	外来治療センターの開設
平成17年 4月 1日	病院局の設置 地方公営企業法の全部適用
平成17年 7月 1日	救急センターの開設
平成17年10月 3日	当院で日本初の西ナイル熱患者発生を届出
平成17年11月26日	川崎消防署と合同で災害時医療訓練を実施
平成18年 1月23日	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定
平成18年 4月 1日	川崎病院組織改革 救命救急センターの開設
平成18年 4月 1日	放射線科から放射線診断科及び放射線治療科へ組織変更

	薬剤科から薬剤部へ組織変更
	集中治療部新設
	診療部長制度新設
平成18年10月28日	神奈川県災害医療拠点病院合同災害医療対策訓練及び消防局航空隊ヘリコプターによる救急患者搬送等訓練
平成19年 2月 5日	ヘリポートに夜間照明を設置
平成19年 4月 1日	副院長4人制に変更
	消化器外科新設
	脳血管外科新設
	血管外科新設
	救急科新設
	アドボカシー相談員配置
平成19年11月 1日	CRC事務室設置
平成20年 4月 1日	院内感染対策担当新設
	肝臓内科新設
	冠疾患集中治療室新設
	婦人内視鏡科新設
平成20年 6月 2日	市内救急医療派遣事業（Kawasaki ONE PIECE）開始
平成20年10月 1日	日本口腔外科学会認定関連研修施設
平成21年 1月 1日	新総合医療情報システム（HOPE/EGMAIN-GX）稼働
平成21年 4月 1日	新生児集中治療管理室（NICU）再開
平成21年 4月 1日	新生児科新設
平成21年 7月 1日	DPC導入
平成21年 7月 7日	川崎DMAT（災害医療派遣チーム）設置病院として指定
平成21年11月12日 ～19日	第48回全国自治体病院学会を川崎市（サンピアンかわさき）で開催 学会長 市立川崎病院長 長 秀男
平成22年 4月 1日	神奈川県周産期救急医療システム中核病院として指定
平成22年 4月 1日	神奈川県地域周産期母子医療センターとして認定
平成22年 4月 1日	臨床研究支援室の設置
平成22年12月 1日	卒後臨床研修評価機構による認定を受ける
平成23年 3月23日	川崎DMAT指定病院として指定
平成24年 4月 1日	事務局担当部長配置
平成24年 4月 1日	医療相談室が地域医療部へ移管
平成24年 5月 1日	糖尿病内科新設
	内分泌内科新設
	腎臓内科新設
	小児外科新設
	乳腺外科新設
平成24年 5月 1日	循環器科、新生児科、耳鼻いんこう科及び感染症科から循環器内科、新生児内科、耳鼻咽喉科及び感染症内科へ組織名変更

平成24年 8月 7日	病床数を713床（一般663、精神38、感染12）に変更
平成24年10月20日	川崎市立 3 病院合同災害医療訓練及び消防局航空隊ヘリコプターによる重症患者等搬送訓練
平成24年11月 1日	7：1看護配置の取得
平成24年11月26日	ER初療ベッドを10床に増設
平成24年12月 1日	卒後臨床研修評価機構による認定を受ける（H24.12.1～H30.11.30）
平成25年 3月 1日	助産外来開設
平成25年 4月 1日	リウマチ科からリウマチ膠原病・痛風センターへ組織名変更 腫瘍内科新設 ペインクリニック内科新設 アレルギー科新設
平成26年 4月 1日	血液内科新設
平成27年 4月 1日	庶務課に企画調整担当を設置 内視鏡室から内視鏡センターへ組織名変更 医師及び歯科医師の給与制度改正
平成27年 9月11日	神奈川DMAT（川崎病院隊）茨城県常総市へ派遣
平成27年12月15日 ～16日	病院機能評価受診
平成28年 1月 1日	「病院の基本理念」「病院運営基本方針」「患者さんの権利」「臨床における倫理指針」を「川崎市立川崎病院基本理念」「病院運営方針」「患者さんの権利」「患者さんの責務」「患者さんへのお願い」に改定
平成28年 1月23日	（公）日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定
平成28年 2月 3日	救命救急センター10周年記念講演会開催
平成28年 3月30日	地域医療支援病院の名称承認
平成28年 4月18日	神奈川DMAT（川崎病院隊）熊本県阿蘇市へ派遣
平成28年 7月	ダ・ヴィンチ（da Vinci）の本格稼働
平成28年 8月	緩和ケア内科外来の設置 がん相談支援センターの開設
平成29年 3月23日	神奈川県がん診療連携指定病院の指定
平成29年 4月 1日	高度脳神経治療センターの設置
平成30年 3月	川崎病院医療機能再編整備基本計画の策定
平成30年 4月 1日	患者総合サポートセンターの設置 PET-CTの本格稼働
平成30年 9月 6日	神奈川DMAT隊員北海道胆振東部地震対応のため派遣
平成30年10月30日	卒後臨床研修評価機構による認定更新

2 人事の変遷（平成31年4月1日現在）

	歴代	氏 名	在 任 期 間
病 院 長	初代	竹 山 且 子	昭和10年 9月 5日 ～ 昭和17年11月 9日
	2代	依 田 稔	昭和16年 7月18日 ～ 昭和18年 4月 2日
	3代	博 田 三雄治	昭和18年 4月 2日 ～ 昭和27年 7月24日
	4代	宮 尾 啓	昭和27年 7月25日 ～ 昭和39年 9月 1日
	5代	勝 正 孝	昭和39年 9月 1日 ～ 昭和50年 8月31日
	6代	山 本 浩	昭和50年 9月 1日 ～ 昭和53年 2月 1日
	7代	藤 森 一 平	昭和53年 2月 1日 ～ 昭和61年11月30日
	8代	林 茂	昭和61年12月 1日 ～ 平成 6年 3月31日
	9代	入 交 昭一郎	平成 6年 4月 1日 ～ 平成11年 3月31日
	10代	岩 田 嘉 行	平成11年 4月 1日 ～ 平成12年 3月31日
	11代	武 内 可 尚	平成12年 4月 1日 ～ 平成15年 3月31日
	12代	秋 月 哲 史	平成15年 4月 1日 ～ 平成20年 3月31日
	13代	長 秀 男	平成20年 4月 1日 ～ 平成22年 3月31日
	14代	堀 内 行 雄	平成22年 4月 1日 ～ 平成25年 3月31日
	15代	増 田 純 一	平成25年 4月 1日 ～ 平成28年 3月31日
	16代	成 松 芳 明	平成28年 4月 1日 ～ 平成31年 3月31日
	17代	金 井 歳 雄	平成31年 4月 1日 ～ 現在に至る。
理 事 担当理事		堀 内 行 雄	平成21年 4月 1日 ～ 平成22年 3月31日
		増 田 純 一	平成24年 4月 1日 ～ 平成25年 3月31日
		林 保 良	平成24年 4月 1日 ～ 平成29年 3月31日
		堀 内 行 雄	平成25年 4月 1日 ～ 平成26年 3月31日
		番 場 正 博	平成27年 4月 1日 ～ 平成30年 3月31日
副 院 長	初代	宮 尾 啓	昭和26年 1月23日 ～ 昭和27年 7月24日
	2代	高 村 長 治	昭和34年 8月 1日 ～ 昭和36年 9月 1日
	3代	勝 正 孝	昭和36年12月 1日 ～ 昭和39年 8月31日
	4代	石 田 堅 一	昭和39年 9月 1日 ～ 昭和45年 3月31日
	5代	山 本 浩	昭和45年 4月 1日 ～ 昭和50年 8月31日
	6代	藤 森 一 平	昭和50年 9月 1日 ～ 昭和53年 1月31日
	7代	菅 野 卓 郎	昭和53年 2月 1日 ～ 昭和56年 3月31日
	8代	斉 藤 敏 明	昭和56年 4月 1日 ～ 昭和62年 3月31日
	9代	鹿 野 達 男	昭和60年 1月 1日 ～ 平成 6年 3月31日
	10代	入 交 昭一郎	昭和61年12月 1日 ～ 平成 6年 3月31日
	11代	山 本 泰 秀	平成 6年 4月 1日 ～ 平成11年 3月31日
	12代	岩 田 嘉 行	平成 6年 4月 1日 ～ 平成11年 3月31日

13代	松岡康夫	平成9年4月1日	～	平成15年3月31日
14代	武内可尚	平成11年4月1日	～	平成12年3月31日
15代	納賀克彦	平成12年4月1日	～	平成17年3月31日
16代	堀内行雄	平成15年4月1日	～	平成21年3月31日
17代	篠原弘子	平成16年4月1日	～	平成20年3月31日
18代	関賢一	平成17年4月1日	～	平成21年3月31日
19代	長秀男	平成19年4月1日	～	平成20年3月31日
20代	成松芳明	平成20年4月1日	～	平成28年3月31日
21代	齊田和子	平成20年4月1日	～	平成25年3月31日
22代	久場川哲二	平成21年4月1日	～	平成22年3月31日
23代	竹中信夫	平成21年4月1日	～	平成30年3月31日
24代	増田純一(兼)	平成22年4月1日	～	平成25年3月31日
25代	番場正博	平成25年4月1日	～	平成27年3月31日
26代	綱嶋たかえ	平成25年4月1日	～	平成30年3月31日
27代	宮川俊一	平成27年4月1日	～	現在に至る。
28代	大曾根康夫	平成28年4月1日	～	現在に至る。
29代	小柳貴裕	平成30年4月1日	～	現在に至る。
30代	千島美奈子	平成30年4月1日	～	現在に至る。

事務長

初代	海野才知	昭和20年6月1日	～	昭和21年8月23日
2代	白倉謙一	昭和21年8月24日	～	昭和27年7月24日
3代	宇田川政之	昭和27年7月25日	～	昭和29年8月27日
4代	石井一郎	昭和29年8月28日	～	昭和30年7月31日
5代	石井英夫	昭和30年8月1日	～	昭和37年4月30日
6代	竹山忠雄	昭和37年5月1日	～	昭和40年3月31日
7代	森己之松	昭和40年4月1日	～	昭和42年10月31日
8代	塚原重年	昭和42年11月1日	～	昭和44年3月31日
9代	小熊栄次	昭和44年4月1日	～	昭和47年10月4日
10代	遠藤文郎	昭和47年10月5日	～	昭和47年12月13日
11代	田代穆彦	昭和47年12月23日	～	昭和54年4月30日
12代	重岡賢治	昭和54年5月1日	～	昭和57年1月31日
13代	上野松治	昭和57年2月1日	～	昭和62年3月31日
14代	岡庭英昭	昭和62年5月1日	～	平成元年3月31日
15代	白鳥房夫	平成元年4月1日	～	平成3年3月31日
16代	藤井健司	平成3年4月1日	～	平成5年3月31日
17代	鈴木嗣明	平成5年4月1日	～	平成6年3月31日
18代	斎藤至旦(経営担当理事)	平成6年4月1日	～	平成8年3月31日
19代	蟹江徹也(経営担当理事)	平成8年4月1日	～	平成10年3月31日
20代	菊池敏彦(経営担当理事)	平成10年4月1日	～	平成11年3月31日
21代	山本栄一(経営担当理事)	平成11年4月1日	～	平成13年3月31日

事務局長

	22代	石 井 洋二郎 (経営担当理事)	平成13年4月1日～	平成14年 3月31日
	23代	佐 藤 猛 (経営担当理事)	平成14年4月1日～	平成15年 3月31日
	24代	添 田 真 郷	平成15年 4月 1日 ～	平成17年 3月31日
	25代	鈴 木 康 夫	平成17年 4月 1日 ～	平成20年 3月31日
	26代	佐々木 元 行	平成20年 4月 1日 ～	平成21年 3月31日
	27代	高 井 敏 雄	平成21年 4月 1日 ～	平成26年 3月31日
	28代	柄 崎 智	平成26年 4月 1日 ～	平成28年 3月31日
	29代	田 邊 雅 史	平成28年 4月 1日 ～	平成29年 3月31日
	30代	林 徳 厚	平成29年 4月 1日 ～	現在に至る。
総 婦 長	初代	植 田 まき子	昭和20年 6月 1日 ～	昭和39年 9月30日
	2代	船 場 宮 子	昭和39年10月 1日 ～	昭和53年 6月30日
	3代	久保田 好 實	昭和53年 7月 1日 ～	昭和58年 9月30日
	4代	加治木 ユ リ	昭和58年10月 1日 ～	昭和61年 3月31日
	5代	高 木 昌 子	昭和61年 4月 1日 ～	昭和62年 4月30日
看護部長	6代	久保田 好 實	昭和62年 5月 1日 ～	平成 2年 3月31日
	7代	庄 崎 雅 子	平成 2年 4月 1日 ～	平成 7年 3月31日
	8代	高 木 サカエ	平成 7年 4月 1日 ～	平成10年 3月31日
	9代	強 矢 智恵子	平成10年 4月 1日 ～	平成13年 3月31日
	10代	釣 巻 慈 子	平成13年 4月 1日 ～	平成15年 3月31日
	11代	篠 原 弘 子 (兼)	平成15年 4月 1日 ～	平成20年 3月31日
	12代	齊 田 和 子 (兼)	平成20年 4月 1日 ～	平成25年 3月31日
	13代	網 嶋 たかえ (兼)	平成25年 4月 1日 ～	平成30年 3月31日
	14代	千 島 美奈子 (兼)	平成30年 4月 1日 ～	現在に至る。
救命センター長	初代	石 井 誠一郎	平成17年 7月 1日 ～	平成18年 3月31日
救 命 救 急	初代	石 井 誠一郎	平成18年 4月 1日 ～	平成21年 3月31日
センター所長	2代	堀 内 行 雄 (兼)	平成21年 4月 1日 ～	平成22年 3月31日
	3代	竹 中 信 夫 (兼)	平成22年 4月 1日 ～	平成27年 3月31日
	4代	田 熊 清 継	平成27年 4月 1日 ～	現在に至る。
高度脳神経治療 センター所長	初代	今 西 智 之	平成29年 4月 1日 ～	現在に至る。
患者総合サポート センター所長	初代	大曾根 康 夫 (兼)	平成30年 4月 1日 ～	現在に至る。

Ⅱ 概 要

1 施 設

所 在 地 川崎市川崎区新川通12番1号

〒210-0013 TEL 044(233)5521 FAX 044(245)9600

敷地面積 19,813.32㎡

建物面積 6,325.94㎡

延床面積 49,890.18㎡

2 病 床 数

713床 内訳：一般 663床 感染 12床 精神 38床（平成31年3月31日現在）

ヘリポート



担当 ○成松 芳明 ●宮川 俊一 □大曾根 康夫 ◇小柳 貴裕



4 職員の状況

(1) 職種別現員

(参考)

職 種	平成30年4月1日 現員数	平成30年度中 の増減	平成31年4月1日 現員数
医師	129		129
歯科医師	2		2
薬剤師	24	-1	23
助産師	32	-3	29
看護師	577	-1	576
(再掲) 准看護師	3	-1	2
歯科衛生士	2		2
栄養士	6		6
臨床検査技師	22		22
診療放射線技師	30		30
理学療法士	9		9
作業療法士	4		4
言語聴覚士	3		3
視能訓練士	2		2
臨床工学技士	7	1	8
一般事務職	29		29
医療事務職	4	-1	3
社会福祉職	3		3
心理職			
電気職	2		2
機械職			
小計	887	-5	882

※ 准看護師数は、看護師数のうちの再掲の数字

(2) 退職者及び院外異動者
＊印は院外異動者

医 師

室 田 敦 子	平成28年4月1日	～	平成30年6月30日
長 田 枝利香	平成29年4月1日	～	平成30年6月30日
五十嵐 秀人	平成29年4月1日	～	平成29年9月30日
澤 近 真 文	平成29年10月1日	～	平成30年9月30日
高 田 昌 幸	平成26年9月1日	～	平成30年10月5日
安 藤 嘉 門	平成25年7月1日	～	平成30年12月31日
高 橋 秀 奈	平成29年4月1日	～	平成30年12月31日
成 松 芳 明	平成13年5月1日	～	平成31年3月31日
蜂 谷 貴	平成27年4月1日	～	平成31年3月31日
成 毛 聖 夫	平成28年4月1日	～	平成31年3月31日
葉 末 亮	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
川 合 聡 史	平成28年4月1日	～	平成31年3月31日
武 井 裕 史	平成30年7月1日	～	平成31年3月31日
久 島 雄 宇	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
中 村 一 喜	平成30年7月1日	～	平成31年3月31日
春 日 義 史	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
多 喜 萌	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
齋 藤 雄 太	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
佐 藤 えみり	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
石 渡 博 昭	平成30年5月1日	～	平成31年3月31日
* 夏 錦 言	平成26年4月1日	～	平成31年3月31日
* 春 成 学	平成22年4月1日		平成31年3月31日

非常勤医師・歯科医師

長岡 可楠子	平成29年4月1日	～	平成30年5月31日
辻 阪 亮 介	平成29年4月1日	～	平成30年6月30日
上 園 志 穂	平成29年4月1日	～	平成30年9月30日
菊 地 陽	平成30年4月1日	～	平成30年9月30日
高 橋 哲 朗	平成30年4月1日	～	平成30年9月30日
眞 木 順 子	平成30年4月1日	～	平成30年9月30日
長岡 可楠子	平成30年9月1日	～	平成30年11月30日
野間 絵梨子	平成27年4月1日	～	平成30年12月31日
倉地 祐之眞	平成30年1月1日	～	平成30年12月31日
青木 真理子	平成29年4月1日	～	平成31年1月31日
永 田 亮 平	平成28年4月1日	～	平成31年3月31日
阪 口 楓	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
永 田 真 夕	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
野 口 二三枝	平成29年6月26日	～	平成31年3月31日
森 田 篤 帆	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
阿瀬川 周平	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
石 垣 星	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
大 草 翔 平	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
臼 井 耕 太 郎	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
岩 瀬 諒 子	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
金 山 芳 郎	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
高 倉 悠 人	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
篠 崎 太 郎	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
塩 味 慶 子	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日

金 本 徳 之	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
前 田 智 早	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
郡 司 崇 裕	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
西 條 裕 介	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
上 平 真 衣	平成30年10月1日	～	平成30年3月31日
王 洪 欣	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
吉 村 拓 馬	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
西 恵 美 里	平成29年10月1日	～	平成31年3月31日
石 川 貴 大	平成30年7月1日	～	平成31年3月31日
菊 地 悠 平	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
小 澤 佑	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
木 下 水 葵	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
井 口 聖 名	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
小 室 祥 子	平成27年9月1日	～	平成31年3月31日
平 川 雄 亮	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
藤 綱 隆 太 朗	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日

臨床研修医

今 本 多 計 臣	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
内 田 絢 子	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
及 川 紗 由 香	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
加 藤 恭 介	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
佐 藤 慎 吾	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
佐 柳 太 一	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
田 中 邦 生	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
田 中 優 衣	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
松 山 遼 太 郎	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
森 田 す み れ	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
岩 渕 晟 英	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
杉 真 恵	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
満 野 竜 ノ 介	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
安 士 陽 平	平成30年4月1日	～	平成31年3月31日
柴 田 宗 一 郎	平成30年10月1日	～	平成30年12月31日
林 侑 里	平成30年10月1日	～	平成31年3月31日
林 幹 士	平成30年10月1日	～	平成31年3月31日
磯 部 あ い こ	平成30年11月26日	～	平成30年12月23日
浅 井 凜 太 郎	平成30年12月3日	～	平成31年2月3日
中 澤 圭 史	平成30年12月1日	～	平成31年2月28日

5 主要医療器械・備品

所 属 別	品 名	規 格	数 量	備 考
手 術 室	弁手術用開胸器システム	St.Jude Medical KS-7002 他	1 式	
〃	婦人科用腹腔鏡システム	オリンパス UHI-3 他	1 式	
〃	膝関節鏡システム	0988-010-000-S2 他	1 式	
〃	脳神経外科内視鏡セット	オリンパス工業 光学視管 (A7500A) 他	1 式	
〃	脳外科用手術顕微鏡	OPMI CS-NC+NC2	1	
〃	尿管鏡	原田産業 M3 テレスコープ 他	1 式	
〃	頭部固定装置 (バデーハロー リトラクター)		1	
〃	電動手術台 (手術台テーブル)	マッケ・ジャパン 1150.15DO	1	
〃	電気手術装置システム	エルベ VIO300D	1	
〃	電気手術装置	アムコ VIO300D	1 式	
〃	電気メス装置	エルボトム ICC350	1	
〃	電気メス	バリーラブ フォース FX 本体 他	3	
〃	超音波診断装置 (外科)	SSA-240A	1	
〃	超音波凝固切開装置	ジョンソン・エンド・ジョンソン ハーモニックスカルペルⅡ	1	
〃	超音波画像診断装置		1	
〃	創外固定器システム		1	
〃	全身麻酔器	オメダ エクセル 210SE	1	
〃	心拍出量測定装置	日本光電 DDG-2001	1	
〃	手術用無菌水手洗装置	MRE-SR-3 型, 2 型	1	
〃	自己血回収システム	セルセーバー5 CS-2005	1 式	
〃	耳鼻科用内視鏡手術装置	ストライカー MV-882TE 他	1	
〃	耳鼻科用ドリルシステム	ジンマー オステオンドリルシステム 5038-001	1 式	
〃	耳鼻科内視鏡システム	カールストルツ IMAGE1	1 式	
〃	耳鼻咽喉科用手術顕微鏡	ライカ M500-N/MS-1	1	
〃	子宮鏡セット	オリンパスヒステロスコープHYF-XP他	1 式	
〃	高周波ラジオ波メス	エルマン・ジャパン サージマックス	1	
〃	結石破碎装置	コントロールユニット840-100 他	1	
〃	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS	1 式	
〃	経食道トランスジューサー	オムニプレーン2 21367A	1	
〃	関節鏡システム	ジンマー IM3300システム	1 式	
〃	関節鏡システム	オリンパス	1 式	
〃	患者監視装置	日本コーリン BP-508N	2	
〃	外科用X線テレビ装置	日立メディコ Sirius Floating/C	1 式	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
手 術 室	マイダレックスモーターシステム	ムラナカ	1 式	
〃	バリーラブフォースGSUユニット	米国バリーラブ社	1	
〃	ハーモニックスカルペル	ジョンソン&ジョンソン GEN04	1	
〃	ナビゲーターGPSシステム	タイコヘルスケア 097010 他	1 式	
〃	ナビゲーションシステム	メドトロニック TERON plusシステム	1 式	
〃	ドリルシステム	日本メドトロニック マイダスレックス・ハイスピードドリル・レジェンド・システム	1 式	
〃	鏡視下脊椎手術セット	メドトロニック ME T R xシステム	1 式	
〃	イリゲーション付バイポーラセット	J & J CMC-3	1 式	
〃	CT定位脳手術装置	駒井式	1	
〃	腹腔鏡用カメラシステム	オリンパス VISERAProシステム	1	
〃	電気手術装置	バリーラブ ForceTriad	4	
〃	超音波血流計	Medi-Stim社 トランジットタイム血流計VQ4122	1	
〃	耳鼻科用シェーバー/ドリルシステム	メドトロ・ソファモアダネック XPS3000	1	
〃	喉頭観察鏡システム	オリンパス PortaView-LF	1	
〃	マイクロサージェリー手術台	瑞穂医科 最低位41c m以下	1	
〃	皮膚灌流圧測定器	カネカメディックス PAD3000	1	
〃	周術期患者情報システム	オムロンコーリン	1 式	
〃	外科用手術顕微鏡システム	ライカ他M525-MS3/MKC-507	1 式	
〃	電動マイクロドリル	ストライカーコアシステム	1	
〃	気道式ドリルシステム	エースクラップ他 ハイランHSコンプリートスペック他	1 式	
〃	ラジオフリークエンシーシステム	スミスアンドネフュー他ValcanEASSystem他	1 式	
〃	外科用X線TV装置	東芝メディカルシステムズ	1	
〃	生体情報モニタ	オムロンコーリンソーラー8000i	1 式	
〃	ハーモニックスカルペルⅡ	ジョンソン・エンド・ジョンソンGEN04他	1 式	
〃	処置用ビデオスコープ	オリンパス ENF-VT2	1	
〃	腎盂/上下尿路観察鏡セット	オリンパス URF-V他	1 式	
〃	整形外科用ドリルシステム	ストライカー コードレスドライバー3	1	
〃	関節鏡カメラシステム	スミス・アンド・ネフュー 560シリーズ	1 式	
〃	電気メス	東機質 ベサリウスMCM	1	
〃	電気けいれん治療器	光電メディカル サイマトロン	1	
〃	内視鏡手術カメラシステム	カールストルツ IMAGE1他	1	
〃	腹腔・胸腔用TVシステム	オリンパス OTV-S7PRO	1 式	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
手術室	電解質TUR＋内尿道切開システム	オリンパス WA22367A 他	1 式	
〃	手術顕微鏡システム	ライカ OH4	1 式	
〃	脊 椎 内 視 鏡 SPINAL ENDOSCOPES セット	カールストルツ spinal endoscopes セット	1 式	
〃	腹腔鏡・胸腔鏡 TV システム	オリンパス VISERA ELITE 他	1 式	
〃	超音波吸引システム	オリンパス SONOSURG-G2	1 式	
〃	デュアルイメージングカラーモジュール	ライカ DIC500FL	1 式	
〃	開胸器（一般）	日本ストライカー システム 7 胸骨鋸ハンドピース他	1 式	
〃	眼科用冷凍手術システム	キラー・アンド・ワイアー クライオマチック M-4100	1 式	
〃	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン VIVIDi	1	
〃	バッテリーハンドピース	日本ストライカー システム 7 シングルトリガーロータリーハンドピース他	1 式	
〃	下肢静脈瘤レーザー治療用超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン LOGIQe Expert	1	
〃	内視鏡下手術用 TV システム	オリンパス VISERA ELITE OTV-S190 他	1 式	
〃	眼底観察システム	カールツァイス Resight 他	1 式	
〃	下肢静脈瘤レーザー治療器	インテグラル ELVeS レーザー	1	
〃	移動型外科用X線撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン OEC9900 Elite Standard-C 12Inch	1	
〃	Force Triad	コグニティブ エネルギープラットフォーム	1	
〃	手術用治療機器	オリンパス Surgical Tissue Management System	1	
〃	白内障・硝子体手術装置	日本アルコン コンステレーションビジョンシステム LXT	1	
〃	内視鏡システム	日本ストライカー 内視鏡 1488 カメラシステム 他	1	
〃	軟性尿管ビデオスコープ	オリンパス URF-V 他	1	
〃	手術用无影灯 STERIS LED 2 灯式	アムコ S27-0724 他	1	
〃	手術用ナビゲーションシステム	ブレイクボック KICKナビゲーションシステム	1	
〃	電動手術台	マッケジャパン	1	
〃	ハイスピードドリル	日本メドトロニック EM200 他	1	
〃	手術用カメラ・I テレスコープ	カールストルツ	1	
〃	超音波画像診断装置	LOGIQ S8	1	
〃	无影灯	STERIS LED 2 灯式	2	
〃	无影灯	STERIS LED 2 灯式（カメラ非対応） S27-5953	1	
〃	高周波電源焼灼装置	ESG-400	1	
〃	无影灯	アムコ STERIS LED 2 灯式	2	
〃	无影灯	アムコ STERIS vLED 2 灯式（カメラ非対応）	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

（取得価格：160万円以上）

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
手術室	da Vinci Si	インテュイティブサージカル	1	
〃	エアシールインテリジェントフローシステム	センチュリー AS-iFS1	1	
〃	耳鼻科手術用ナビゲーションシステム	日本メドトロニック 9733560	1	
〃	全身麻酔器	GE ヘルスケアジャパン アバンス CS2Pro	1	
〃	婦人科手術用 HD カメラシステム	カールストルツ	1	
〃	ヘッドレストシステム	ユフ精器 LUNA スタンダードリトラクターシステムセット	1	
〃	腹腔・胸腔鏡用 TV システム	オリンパス OTV-S190	1	
〃	Q-SW ルビーレーザー	エムエムアンドニーク MODEL IB101	1	
〃	バーサパルスセレクト 30W	ボストンサイエンティフィックジャパン	1	
〃	無影灯	アムコ STERIS vLED	1	
〃	モバイルCアームシステム	PHILIPS BV Vectra	1	
〃	無影灯	アムコ STERIS LED	1	
〃	手術麻酔記録支援システムハードウェア	フクダコーリン CIS-OR	1	
〃	腹腔・胸腔鏡用 TV システム関連	オリンパス VISERA ELITE システム	1	
〃	外科ラパロ鉗子セット	オリンパス/GEISTER/カールストルツ 一式	1	
〃	超音波診断装置 (消化器外科)	日立製作所 F37	1	
〃	オシレーター (手術用ドリル)	ジンマーバイオメット パワープロエアー PR-6175-000-00	1	
〃	全身麻酔器	GE ヘルスケア・ジャパン エイシス CS2ProEtC	1	
〃	モルセレーターシステムセット	カールストルツ・エンドスコープ・ジャパン 一式	1	
〃	血液ガス分析装置	ノバ・バイオメディカル	1	
〃	超音波手術器	日本ストライカー ソノヘット UST-2001	1	
〃	電動手術台 MERRA	ゲティンゲ 720001B0	6	
〃	ヒステロビデオスコープ	オリンパス VISERA HYF-V	1	
〃	◎手術台	ゲティンゲグループ・ジャパン MERRA 720001B0	2	
〃	◎手術用気動ドリル	ジョーンソンエンドジョーンソン	1式	
〃	◎手術用電動ドリル	ジョーンソンエンドジョーンソン	1式	
〃	◎内視鏡用能動切除器具	ボストン・サイエンティフィックジャパン バーサカットシステム 840-890	1	
〃	◎アルゴンプラズマ凝固装置	アムコ VIO200S スタンダードモデル E12-1159	1	
〃	◎硬性気管支鏡	原田産業 デューモンブロンコスコープ	1	
〃	◎鋼製小物手術器機械 (整形外科用)	日本ストライカー システム8コート・レストライバー・ハンドピース 4505-000-000 他	1式	
器材室	滅菌コンテナ		1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
器 材 室	中央器材室セット 5	ムラナカ 113-002-03 他	1 式	
	システム乾燥機	サクラ精機 SNK-1152E	1	
	インテリジェントトレイシステム	自治体病院共済会	1 式	
	スリッパ洗浄器	オカダ医材	1	
	酸化エチレンガス滅菌装置	サクラ精機他 SHE-G15W型	1 式	
	ジェット式超音波洗浄装置	シャープ MU5100	2	
	ジェット式超音波洗浄装置	サクラ精機 WUS-3100	1	
	高圧蒸気滅菌装置	H S 6613 T D R 2 - S R - U L	1	
	超音波洗浄装置	モレーンコーポレーション MDE11132-5S	1	
	過酸化水素ガス滅菌器	キャノンライフケアソリューションズ ES-700i	1	
	過酸化水素ガス滅菌器	キャノンライフケアソリューションズ ES-1400S	1	
	◎コアマイクロドリル	日本ストライカー コア2マイクロドリル	1 式	
	◎過酸化水素ガス滅菌器	キャノンライフケア ES-1400S	1	
	◎開創器	Boss Instruments LTD. ロブスター開創器血管セット+プロティアンフレーム	1	
	◎気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-1TQ290, BF-P290	1 式	
	◎下垂体手術用鋼製小物セット	フジタ 医科器械	1 式	
麻 酔 科	混合血酸素飽和度監視システム	日本光電 INVOS4000 他	1	
	人工呼吸器解析装置システム	大正医科 VT-PLUS	1 式	
	人工呼吸器	日本光電 ザビーナ	1	
	血液ガス分析装置	ノバ・メディカル スタットプロファイル C C X 1	1	
	全身麻酔器	GEヘルスケア アバンスケアステーション P r o	2	
	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS他	1 式	
	全身麻酔器	GEヘルスケアジャパン アバンスケアステーションPro	2	
	超音波診断装置	富士フイルム S-Nerve	1	
	◎全身麻酔器	GEヘルスケア・ジャパン アバンス CS2 Pro	2	
	◎動脈圧心拍出量計	エドワーズライフサイエンス EV1000 クリティカルケアモニター	1 式	
外 来 手 術 室	高周波ラジオ波メス	エルマン サージマックス	1	
	眼科用手術顕微鏡	カールツァイス OPMI Lumera T	1	
	超音波白内障硝子体手術装置	アルコン インフィニティ・アキュラス4400	1	
	眼科用ヤグレーザー手術装置	エレックス ウルトラQオフサルミックスヤグレーザー	1	
	ミニCアームX線診断装置	ホロジック	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
外 来 手 術 室	◎鋼製小物手術機械（外科他用）	高砂医科工業他 TKZ-F10328-0BS他	1 式	
M E セ ン タ ー	体外循環用血液パラメーター モニターシステム	テルモ CDI500	1 式	
〃	人工呼吸器	日本光電 ザビーナ	1	
〃	人工呼吸器	日本光電 Savina5380008 他	1	
〃	人工呼吸器	日本光電 EVT-4000 他	1	
〃	人工呼吸器	東機貿 ニューポート E100M	1	
〃	人工呼吸器	東機貿 E-100M	6	
〃	人工呼吸器	ニューポートベンチレーター	2	
〃	人工呼吸器	ドレーゲルメディカル ザビーナ	2	
〃	自動赤血球沈降速度測定器	TMR-6000	1	
〃	血液成分分離装置	スペクトラVer6	1	
〃	医用テレメーター	日本光電 WEP-8530	2	
〃	医用テレメータ	日本光電 WEP-4204	2	
〃	ライフスコープ11	日本光電	1	
〃	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-7105,7106	1	
〃	ニューポートレスピレーター	東機貿 E-100A	5	
〃	心筋保護液供給システム	泉医科 HCP-5000	2	
〃	医用テレメータ	日本光電 WEP-5218	1 式	
〃	人工呼吸器	日本光電 HAMILTON-C2	2	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル Savina300	3	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル Savina300	2	
〃	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス VigilanceⅡ	2	
〃	非侵襲的人工呼吸器	フィリップス・レスピロニクス V60	1	
〃	輸液ポンプテスター	フルク・バイオメディカル IDA-4Plus/4ch,データ解析 用パソコン 東芝Dynabook T453/33JW	1	
〃	血液浄化装置	旭化成メディカル ACH-Σ,データ解析用パソコン 富士通LIFEBOOK P772/G	1	
〃	ビジランスヘモグレイミクモニタ （心拍出量測定装置）1/2	エドワーズライフサイエンス VIG2	1	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル Savina300	2	
〃	バイタルサインシミュレーター	大正医科 Prosim8SP	1	
〃	人工呼吸器	レスピロニクス Trilogy02Plus	1	
〃	人工呼吸器	コヴィディエン PB 9 8 0	1	
〃	人工呼吸器	コヴィディエン PB 8 4 0	1	
〃	バイタル連携対応機器	テルモ	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

（取得価格：160万円以上）

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
M E セ ン タ ー	閉鎖・開放両用保育器	アトムメディカル Dual Incu	1	
	人工呼吸器	COVIDIEN ベネットベンチレータ980TypeU	1	
	電気メス	エルベ VI0300Dベーシックバイクランプモデルプラス	1	
	バイタル連携対応機器	テルモ	1	
	人工呼吸器	コヴィディエン ベンチレータ840	3	
	通信機能付バイタルサイン測定機器	テルモ 電子体温計C215 ET-C215S	1	
	多用途血液浄化装置	旭化成メディカル ACHΣ	1	
	◎人工呼吸器	COVIDIEN ベンチレータ840	2	
	◎血液浄化装置	旭化成メディカル ACH-Σ	1	
	◎大動脈バルーンポンピング装置	ゲティンゲグループ・ジャパン CARDIOSAVE	1 式	
放 射 線 科	乳房用X線撮影装置	インストルメンタリウムイメージング社 (diamond)	1	
	超音波画像診断装置・腹部検査用	東芝メディカルシステムズ	1	
	大容量冷却遠心機		1	
	体外式衝撃波結石破碎装置	ドルニエメドテックシステムズ DeltaⅡ	1	
	パノラマ撮影X線装置	モリタ X500CP-CR	1	
	治療計画用CT装置	東芝メディカルシステムズ AquilionLB TSX-201A/1A 16列	1	
	腔内小線源治療装置	ニュークレトロン社 マイクロセレクトロンHDR	1	
	救急外来用一般X線撮影装置	島津製作所 UD150B-40 他	1 式	
	救急室X線CT装置	東芝メディカルシステムズ Aquilion CX	1 式	
	移動型X線撮影装置	日立メディコ シリウス130H P	1	
	移動型X線撮影装置	島津製作所 モバイルアートルミナ	1	
	放射線治療システム	バリアン社 CLINACiX	1 式	
	放射線監視システム		1 式	
	ピクチャーテルメドリンク S	ピクチャーテル CP-1746	1	
	ハンドフットクロスモニター	アロカ MBR-201	1	
	定位放射線治療システム	ユーロメディテック社スカルペル	1 式	
	多軌道断層撮影装置	島津製作所 HLZ-110	1	
	X線骨塩定量装置	QDR-4500A	1	
	X線CT装置	東芝メディカルシステムズ Aquilion64	1 式	
	RI遮蔽用鉛貯蔵庫	TH-J1331	1	
	RIフード	TH-F1602	1	
	MR造影剤自動注入装置	根本杏林堂 ソニックショット50 他	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
放 射 線 科	超電導磁気共鳴画像診断装置	フィリップス Achiva 1.5T NovaDual	2 式	
〃	CRシステム	FCR5000, FCR9501-HQ 他	1 式	
〃	遠隔式X線透視撮影装置	島津製作所 Cvision Safire 17	1	
〃	X線CT装置	東芝メディカルシステムズ Aquilion64	1	
〃	ガンマカメラ	シーメンスジャパンSymbia E	1	
〃	医用画像作成装置及び外部データ取込み装置	コドニクス他 画像取込/書き込み一式	1 式	
〃	アブレーションシステム	セントジュード CoolPathシステム一式	1 式	
〃	心血管用アンギオ装置	フィリップス Allura Xper FD10	1	
〃	汎用アンギオ装置	フィリップス Allura Xper FD20	1	
〃	インバータ式回診用X線撮影装置	島津製作所 MobileArt Evolution	1	
〃	放射線読影レポート用音声入力システム	アドバンスト・メディア	1 式	
〃	デジタル画像処理システム	富士フイルムメディカル CALNEO-C 他	1 式	
〃	多目的デジタルX線 TV システム	島津製作所 SONIALVISION G4	1	
〃	X線発生装置	東芝メディカルシステムズ RADREX MRAD-A80S/2G	4	
〃	X線発生装置	東芝メディカルシステムズ RADREX MRAD-A80S/BH	2	
〃	回診用X線撮影装置	FUJIFILM DR CALNEO Go	1	
〃	放射線治療システム関連機器アップグレード	バリアンメディカルシステムズ	1	
〃	一般X線撮影間接変換FPD装置	コニカミノルタ	1	
〃	PET-CT装置	シーメンスヘルスケア Biograph Horizon 一式	1	
検 査 科	誘発電位検査装置	日本光電 MEB-5508	1	
〃	脳波検査システム	日本光電 EEG-1514	1 式	
〃	内視鏡画像ファイリングシステム	オリンパス光学 EVIS-NET	1 式	
〃	電子顕微鏡	日本電子 JEM-1010	1	
〃	超音波診断装置（循環器）	GE横河メディカル Vivid7 Dimension 4D	1	
〃	超音波画像診断装置	Core Vision SSA-350A, 340A	2	
〃	超音波画像診断装置	GEヘルスケアジャパン LOGIQ7	1	
〃	実験台 4（解剖室）		1	
〃	実験台 3（標本切出室）		1	
〃	実験台 2（病理検査室）		1	
〃	実験台 1（細菌検査室）		1	
〃	自動封入装置	サクラ精機 SGC-400-D	1	
〃	自動染色装置	サクラ精機 DRS-2000B	2	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

（取得価格：160万円以上）

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
検 査 科	嫌気性インキュベーター	ヒラサワ ANX-3 (a)	1	
"	蛍光顕微鏡	本体 ニコン E8-RFL-2 他	1	
"	解剖台	サクラ精機 KBH-LA	1	
"	密閉式自動固定包埋装置	サクラファインテックジャパン ETP-5-F	1	
"	ABIフォーム	日本コーリン from PWV/ABI	1	
"	超音波診断装置	GEヘルスケア LOGIQ7	1	
"	凍結組織切片作製装置	サクラファインテック ティシューテッククライオ	1	
"	血液照射装置	IBL-437C	1	
"	超音波診断装置	GEヘルスケア LOGIQ7	1	
"	生理検査システム	日本光電 PrimeVita他	1式	
"	呼気ガス分析装置	ミナト医科 AE-310SRC他	1式	
"	血圧脈派検査装置	オムロン HFA-203RPEⅢ	1	
"	全自動免疫染色装置	ライカ Bond-max	1式	
"	超音波診断装置(乳腺精細用)	日立アロカメディカル Preirus	1式	
"	総合肺機能検査システム	チェスト CHESTAC-8900N	1	
"	脳波計	日本光電 EEG-1218	1	
"	血液培養装置	シスメックス・ビオメュー バクテアラート3D 360型	1	
"	全自動同定・感受性検査装置 ／感染制御システム	シーメンスヘルスケア マイクロスキャン WalkAway96Plus	1	
"	脳波計	日本光電 EEG-1214	1	
"	筋電図・誘発電位検査装置	日本光電 MEB-2312	1	
"	システム生物顕微鏡	オリンパス BX-53	1	
"	加算心電図ソフトウェア付心 電計	日本光電 ECG-2550	1	
"	長時間心電図解析装置	日本光電 DSC-5500	1	
"	超音波診断装置	Philips EPIQ7	1	
"	全自動輸血検査装置	オーソ VISION	1	
"	運動負荷心電図測定装置	日本光電 ECG-2450	1	
"	凍結切片作成装置	サクラファインテックジャパン ティシュー・テック ポーラ DM POLAR-DM	1	
"	◎病理検査業務支援システム	正晃テック WebPath	1	
"	◎汎用超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン Vivid E95	1式	
"	◎採血準備トータルシステム		1式	
内視鏡センター	内視鏡画像ファイリングシステム	オリンパス光学 EVIS-NET	1式	
"	電子内視鏡システム	フジノン東芝 ES システム EL2-TF410	1式	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数 量	備 考
内視鏡センター	電子内視鏡システム	オリンパス EVIS ルセラ 260 システム	1 式	
"	電子内視鏡システム	オリンパス CV-260SL 他	1 式	
"	大腸ビデオスコープ	オリンパス EVIS LUSER PCF240 i	1	
"	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q260A	2	
"	大腸ビデオスコープ	オリンパス CF-Q240ZI	1	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q260	2	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	3	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	1	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260Z	2	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	1	
"	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	1	
"	十二指腸用電子スコープ	オリンパス JF-240	1	
"	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス TJF-240	1	
"	下部消化管ビデオスコープ	オリンパス PCF-240L/ i	1	
"	ベットサイドモニター	日本光電 BSM-83D1	1	
"	内視鏡管理システム	オリンパス SolemioENDO	1 式	
"	高周波手術装置	エルベ VIO-300D	1	
"	気管支ビデオスコープ	オリンパス EVISLUCERA BF-6C260	1	
"	アルゴンプラズマシステム	アムコ アルゴンプラズマ APC300 他	1 式	
"	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	2 式	
"	消化器内視鏡システム	オリンパス EVIS LUCERA SPECTRUM	2 式	
"	気管支超音波穿刺システム	オリンパス スコープ BF-UC260F-OL8/観測装置 EU-C2000	1	
"	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-XP260F	1	
"	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q26AI	1	
"	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	1	
"	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q2660AZI	1	
"	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス JF-260V	1	
"	超音波内視鏡システム	オリンパス EU-ME1 他	1 式	
"	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-XP260F	1	
"	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-XP260NS	1	
"	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-260	1	
"	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス JF-260V	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
内視鏡センター	内視鏡室マネージメントシステム	Solemio ENDO Ver.4	1	
〃	電子内視鏡システム	LUCERA ELITE CV-290	1	
〃	電子内視鏡システム	オリンパス	1	
〃	気管支鏡システム	オリンパス CV-290 他一式	1	
〃	電子内視鏡システム	オリンパス CV-290 他一式	1	
内 科	携帯型超音波診断装置	ソノサイトジャパン iLook25	1	
〃	血管内超音波診断装置	テルモ TU-C200	1	
〃	超音波診断装置	GEヘルスケア LOGIQP5	1	
〃	個人用多用途透析装置	日機装 DBG-03	1	
〃	医用テレメータ	日本光電 WEP-5208	1	
産 婦 人 科	超音波診断装置	持田シーメンスメディカル ソノビスタ C3000	1	
〃	超音波診断装置	東芝 SSA-340A 他	3	
〃	婦人科内視鏡システム	オリンパス VISERA-PROCCU 他	1 式	
〃	超音波診断装置	日立アロカメディカル Prosound α 6	1 式	
〃	超音波画像診断装置 VOLUSON P8 1/3	GEヘルスケア・ジャパン VOLUSON P8	4	
〃	超音波診断装置	持田シーメンス X500	1	
〃	ヒステロ内視鏡システム	オリンパス OTV-S190	1	
〃	超音波画像診断装置	GEヘルスケアジャパン Voluson S8	1	
〃	◎超音波画像診断装置	GEヘルスケア・ジャパン Voluson P6	1 式	
〃	◎婦人科ラパロ鉗子セット	三立医科工業他 924-0501 他	2	
外 科	超音波診断装置		1	
〃	ラジオ波焼灼装置	ボストンサイエンティフィックジャパン RF3000	1	
〃	超音波診断装置	東芝メディカルシステムズ Xario200	1	
〃	◎超音波画像診断装置	日本メディカルネクスト BK5000 システム	1	
呼 吸 器 外 科	気管支ビデオスコープ	BF-P290	1	
耳 鼻 咽 喉 科	聴力検査装置	リオン AA-75	1	
〃	耳鼻科ユニット	永島医科 SNニューピアレスF (片面)	3	
〃	喉頭電子スコープセット	オリンパス ENF-V 他	1 式	
〃	吸入器	SNネブライザー装置ルミエール	1	
〃	鼻咽喉内視鏡システム	オリンパス VISERA-PROCCU 他	1 式	
〃	インピーダンスオーディオメータ	リオン RS-22	1	
〃	重心動揺計	アニマ グラビエータ GP-5000	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
耳 鼻 咽 喉 科	眼振図解析システム	第一医科 ニスモグラフ FNG-1004 他	1 式	
〃	神経刺激モニター	日本メドトロニック N I Mレスポンス 3.0	1 式	
〃	耳鼻咽喉ビデオスコープ	オリンパス ENF-VQ	1 式	
〃	オーディオメーター	リオン AA-H1	1	
泌 尿 器 科	泌尿器用内視鏡装置	武井医科 TV-3500	1	
〃	泌尿器科用検診台	モリタ製作所 SPN-1	1	
〃	ウロダイナミクス検査装置	アムコ ウロラブスペクトラム	1	
〃	泌尿器内視鏡システム	オリンパス VISERAPro システム	1	
〃	超音波診断装置	東芝 NEMIO XG	1	
〃	フラッシュャーディスプレイインフエクター	ゲティンググループ・ジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
整 形 外 科	埋込型シャウカステン	森山X線 ISH-02U (36 台) 他	1 式	
皮 膚 科	診断用顕微鏡	ニコン エクリプス 80i MTH5-31	1	
〃	近赤外線治療器	東京医研 スーパーライザー HA-2200LEI-DX 2WAY	1	
形 成 外 科	CO2 レーザー手術装置	日本ルミナス	1	
眼 科	網膜電気図記録装置	トーマー PE-3000	1	
〃	非接触式角膜内皮細胞撮影装置	コーナン社 ノンコロンボ	1	
〃	投影式精査型視野計	タカギセイコー プロジェクションペリメーターMT-325UD	1	
〃	超音波画像診断装置	トーマー UD-6000A/B 他	1	
〃	自動視野計	カールツァイス HFA II 740	1	
〃	光干渉断層計	フーリエドメイン OCTRT Vue-100	1	
〃	眼科検査訓練機器	クレメントクラーク社 シノプトフォア 2001 他	1	
〃	画像ファイリング機能付スリットランプ	カールツァイス SL130	1	
〃	角膜形状測定装置	トーマー TNS-4	1	
〃	オートレフケラトメーター	キャノン RK-5	1	
〃	オートレフ・ケラトメーター	キャノン RK-F1	1	
〃	眼底カメラ	コーワ VX-10 i	1	
〃	マルチカラーレーザー光凝固装置	ツァイス	1	
〃	ピズラス PDT システム	スリットランプ SL130 付システム 690 S	1	
〃	眼科診療支援システム	ニデック NAVIS-HP 他	1	
〃	細隙灯顕微鏡	ハーグストレート 900BQ LED	1	
〃	細隙灯顕微鏡	カールツァイス	1	
〃	オートレフケラトトノメーター	キャノン TX-20P 他	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
眼 科	眼圧・角膜厚測定装置	特ナライザアソリューションズ TX-20P	1	
"	眼軸長測定機器	カールツァイス iOL マスター (モデル 700)	1	
"	眼科ファイリングシステム	ニデック NAVIS-AZU	1	
"	◎超広角走査レーザー検眼鏡	オプトス パラニックスカルトスコープ California モデル IGC	1	
"	◎3次元眼底像撮影装置	トプコンメディカルジャパン DRI OCT Triton Plus	1	
腎 センター	多人数透析液供給装置	日機装 DAB-05B	1	
"	多人数用透析液供給装置	日機装 DAB-10NX	1	
"	◎逆浸透法精製水製造装置	ダイセン・メンブレン・システムズ FC-RE700FS W650×D1080×H1800	1	
救 急 室	搬送用人工呼吸器	ドレーゲルメディカル オキシログ 3000	1	
"	経皮の心肺補助装置	テルモ キャピオックス EBS 他	1 式	
"	超音波診断装置	富士フイルムメディカル	1	
"	患者シミュレータ (SimManALS)	レールダルメディカルジャパン 235-20001	1	
"	患者シミュレータ (レサシアンシミュレータ PLUS)	レールダルメディカルジャパン 150-21001	1	
"	◎体温管理システム	I M I アークティックサン 5000	1 式	
救 命 救 急 センター	高機能患者シミュレータ	METI (アイエムアイ) ECS 成人モデル	1	
"	高機能 ICU ベッド	ヒルロム トータルスポーツケア	1	
"	救急用ストレッチャー	日本ストライカー SM204	1	
"	ポータブル超音波診断装置	ソノサイトジャパン マイクロマックス	1	
"	ヘモダイナミックモニター	エドワーズライフサイエンス VIG2	1	
"	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	1 式	
"	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	1 式	
"	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	1 式	
"	病棟モニタリングシステム	日本光電 CNS-9701	1 式	
"	全自動血液ガス分析装置	バイエルメディカル ラピッドポイント 405	1 式	
"	心電図受信装置	日本光電 CNS-9701	1 式	
"	人工呼吸器	日本光電 EVT-400	2	
"	血液透析濾過装置	旭化成メディカル Plasauto i Q21	1	
"	救急用受信システム	日本光電 WEC-4100	1 式	
"	陽・陰圧体外式人工呼吸器	メディベント社 RTX	1	
"	超音波診断装置	ソノサイト L04326 他	1 式	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数 量	備 考
救 命 救 急 セ ン タ ー	救急・搬送用人工呼吸器	ドレーゲル	1	
〃	超音波診断装置（救急用）	富士フイルムメディカル FAZONE M	1	
歯 科 口 腔 科 外	歯科用ユニット	FGMD2-163L	2	
〃	歯科用キャビネット	ウエダ キャビネットABC他	1	
〃	歯科用インスツルメント	長田電気	1	
〃	感染対策歯科セット	OFJ-MZLタービンセット 他	1式	
〃	デンタルユニット	GM/ML-223LL	1	
〃	セントラルシステム	フレクシークリーンエアバキューム 他	1式	
〃	◎ボーンサージェリーシステム	ナカニシ インプランターNeoPluS LED,バリオサージ3他	1式	
心 臓 血 管 外 科	遠心ポンプ	テルモ サーンズセントリフューガルシステム	1式	
〃	大動脈内バルーンポンプ	ゼメックスIABP	1	
〃	大動脈内バルーンポンプ	エドワーズライフサイエンス CS-100	1	
〃	人工心肺装置	スタックカート スタックカートS5	1	
リ ハ ビ リ	耳鼻咽喉ファイバースコープ	町田製作所 FLT-SIII 他	1	
〃	磁気刺激装置	ミユキ技研 マグスティムラピッドシステム	1式	
〃	バランス・計測訓練機器	アニマ キネトグラビコーダ G-7100 他	1	
〃	トレッドミル		1	
〃	耳鼻咽喉ビデオスコープ	オリンパス OTV-S190 他	1	
〃	チルトテーブル水平位サポータ台	酒井医療 SPR-7000D	1	
透 析 室	透析用監視装置	日機装 DCS-73	1	
〃	HDF 監視装置	日機装 DCG-03	1	
〃	多用途透析監視装置	日機装 DCG-03	1	
〃	個人用透析装置	日機装 DBB-27	1	
8 階 北 病 棟	産科病棟セキュリティーシステム	シスメックス C-CV20-2 他	1式	
〃	顕微受精システム	オリンパス ON2-ICSI-II	1式	
〃	分娩台	アトム LDR-7000	1	
〃	分娩監視装置・単胎用	アトムメディカル FM-20A/E-20 他	1式	
〃	分娩監視装置・双胎用	アトムメディカル FM-20B/E-20 他	1式	
〃	超音波画像診断装置 SONOVISTA FX	シーメンス SONOVISTA FX premium edition	1	
〃	分娩台	アトム マミージョイ LDR 14320	1	
〃	フラッシュャーディスプレイインフェクター	ゲティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
8 階 北 病 棟	超音波診断装置(産婦人科)	GEヘルスケア・ジャパン Voluson P6	1	
〃	胎児集中監視システム	アトムメディカル FSVセントラルモニター式	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンググループ・ジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
8 階 南 病 棟	フラッシュャーディスインフエクター	GETINGE607LCC-2P-50	1	
8 階 西 病 棟	人工呼吸器(ベンチレーター)	東機質 SLE2000 他	1	
〃	新生児用人工呼吸器	東機質 SLE2000HFO	1	
〃	インファントウォーマー	アトム V-505HL	1	
9 階 北 病 棟	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンググループ・ジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
9 階 南 病 棟	肺理学療法システム	ヒルロム (パラマウント) トータルケアスポーツ	6	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル Savina	1	
〃	アーキティックサン	アイエムアイ モデル 2000 VER. 4	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティング GETINGE607	1	
〃	◎ICUベッド	パラマウントベッド KA-8950A	1	
10 階 北 病 棟	フラッシュャーディスインフエクター	GETINGE607LCC-2P-50	1	
〃	病棟用医用テレメータシステム	HXC-1150	1	
10 階 南 病 棟	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティングジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
11 階 北 病 棟	超音波画像診断装置	腹部検査用	2	
〃	新生児用人工呼吸器	東機質 SLE2000	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティングジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
11 階 南 病 棟	血管アクセス用超音波診断装置	メディコン サテライト5	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	GETINGE607LCC-2P-50	1	
12 階 北 病 棟	耳鼻科ユニット	永島医科 S I Vニューピアレス	1	
〃	細隙灯顕微鏡	ハーグストレイト 900BQV 他	2	
〃	ネブライザーユニット	永島医科 SN-P型3人用	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティングジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
〃	超音波診断装置	日立製作所 ARIETTA60	1	
12 階 南 病 棟	8人用医用テレメーター	日本光電 WEP-5218	1 式	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティングジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
13 階 北 病 棟	セントラルモニター	オムロンコーリン HXC-1190 他	1 式	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティング GETINGE607	1	
13 階 南 病 棟	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティング GETINGE607	1	
〃	超音波診断装置	コニカミノルタ SONIMAGE HS1-4	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
1 3 階 南 病 棟	医用テレメータシステム (13階南病棟用)	日本光電 WEP-5218	1	
〃	医用テレメータシステム	日本光電 WEP-5268	1	
1 4 階 南 病 棟	医用テレメーター	オムロンコーリン HXC-1100 他	1 式	
N I C U	新生児用聴覚検査装置	日本光電 MAAS	1	
〃	新生児用人工呼吸器	ドレーゲル Babylog 8000plus	4	
〃	新生児用人工呼吸器	イワキ カリオペα	2	
〃	光凝固装置	エレックス ソリティア	1	
〃	血液ガス分析装置	ラジオメーター ABL835FLEX	1	
〃	CR システム	コダック CR ELITE-19	1	
〃	ポータブルX線撮影装置	シーメンス MOBILETT XP	1	
〃	カウンターユニット・シーリングモジュール	セントラルユニ カウンターユニット＋シーリングモジュール	1	
〃	CRP 測定器	日水製薬 エバネット E V20	1	
〃	脳機能モニター	アイエムアイ 16ch 124 01 20	1	
〃	呼吸機能測定装置	アイビジョンアーフェルⅢ	1	
〃	閉鎖式保育器	アトムメディカル	9	
〃	生体情報モニター	フィリップス MP50	5	
〃	体温管理システム	アイ・エム・アイ アークティックサン	1	
〃	搬送用保育器	アトムメディカル V-808 Sp02	1	
〃	開放型保育器	アトムメディカル インファーマー I	1	
〃	閉鎖循環式保育器	アトムメディカル インキュI	1	
〃	閉鎖循環式保育器	アトムメディカル インキュI	1	
〃	開放型保育器	アトムメディカル	1	
〃	◎赤ちゃん連れ去り警報システム	インファウーマ i 蘇生装置 I マトリックス	1 式	
I C U / C C U	人工呼吸器	ドレーゲルメディカル エビタ 4	1	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル エビタ X L	1	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル EVT4000	3	
〃	持続緩徐式血液濾過装置	旭メディカル Plasauto iQ	1	
〃	在室患者監視システム	オムロンコーリン ベッドサイドモニタ Solar8000i	1	
〃	ICU 天井懸垂システム	インケアポート MODEL-277	1 式	
〃	血液浄化システム	旭化成クラレ プラソート I Q21	1	
〃	高機能 ICU ベッド	パラマウントベッド KH-151	1	
〃	フラッシュャーディスプレイインフエクター	ゲティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
I C U / C C U	人工呼吸器	ドレーダール・メディカル Evita Infinity V500	2	
〃	◎人工呼吸器	COVIDIEN ベンチレータ 840	1	
感 染 対 策 室	採痰ブース	日本医科器械製作所 VCM-1500N2	1	
薬 剤 部	薬剤保管用縦型回転棚	クラヤ薬品 92C3-315-42	1	
〃	薬剤管理業務支援システム	ユヤマ クスリ箱エース 21 他	1 式	
〃	薬剤トレイ回収システム	セントラルユニ	1 式	
〃	電動式移動棚	クラヤ薬品 RAM-5240 K-TE 他	1	
〃	蒸留水製造装置	清水理化学機器 TKS-30	1	
〃	IVH 機器システム	日科ミクロン	1 式	
〃	調剤支援システム	ユヤマ一式	1 式	
〃	全自動散薬分包機	ユヤマ YS-TWIN-R93Ⅲ	2	
〃	全自動錠剤分包機	ユヤマ YS-TR-330FDS2	1	
〃	薬液・薬ビン用蒸気滅菌器	サクラ精機 ΣⅢYR-B09SLPC	1	
〃	注射薬自動払出システム	トーショー UNIPUL-4000-V4	1	
〃	バイオハザード対策用キャビネット	日科ミクロン B C G 401	2	
〃	◎全自動 P T P シート払出装 置	ユヤマ YS-PTPⅡ-130	1	
食 養 科	プレハブ冷凍庫	日本調理機 HCA22A	1	
〃	食器洗浄機	日本調理機 DWF2-6RPE-01	1	
〃	哺乳瓶用乾熱滅菌装置	三田理化工業 MB-20E	1	
〃	スチームコンベクションオー ブン	ニチワ SCOS-2020RH-L 他	1 式	
〃	温冷配膳車	エクター MOG48RER-SY	4	
〃	温冷配膳車	エクター MOG40SER-SY	2	
〃	電気スチームコンベクション オーブン	ニチワ電機 SCOS-2010RH-R	1	
〃	温冷配膳車	エクター MOG40SER-SY	1	
〃	単槽型ウォッシャーディスイ ンフエクター	村中医療器 ミーレジェットウォッシャーPG8536	1	
〃	◎ユニット式調乳水製造装置	三田理化工業 CMIFS-301E-WA-150V 型	1	
看 護 部	看護管理支援システム	インフォコム	1	
医 事 課	総合医療情報システム	富士通	1 式	
〃	ムーブラック	イトーキ	1	
〃	収納 POS レジシステム	富士通	6	
〃	自動精算機	グローリー IHV-PCS	2	
教 育 指 導 部	救命処置トレーニングシステ ム	レイダール社ハートシステム A C L S トレーニング	1 式	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所 属 別	品 名	規 格	数量	備考
教 育 指 導 部	救命処置トレーニングシステム	レイダル社ハートシステムACLSトレーニング	1 式	
〃	システムオートラック	マルタン	1	
庶 務 課 ・ 管 理	物品器材管理システム	セントラルユニ	1 式	
〃	物品管理システム	セントラルユニ	1 式	
〃	プラスチック破砕器	EC-15-30-B	1	
〃	ピアノセット	ヤマハ C3L	1 式	
〃	防災対策用カメラシステム	ヤマハ C3LTOA C-CV160S-3 他	1 式	
川 崎 病 院	急性期患者情報システム	オムロン・ICUシステム・ERシステム・ORシステム	1 式	
〃	デジタルサイネージ機器	シャープ	1	

◎印は平成30年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

6 主な委託業務

病院業務の効率的な運営を期して、業務の一部を次のとおり委託しています。

平成10年度から委託業務の一部を整理統合しました。

委 託 業 務 名	委 託 内 容	開始年度
清 掃	院内（病棟区域・外来区域）、構内清掃	昭和32年度
リネンセンター 運営管理業務	診療衣・看護衣・診察用布等の洗濯、折りたたみ 新生児・乳幼児用肌着等の提供と洗濯 入院患者寝具・洗濯・病棟配布 宿直職員及び夜勤看護師用寝具の提供と補修・洗濯 患者病衣の提供 ベッドセンター運営管理・補修室縫製等	昭和35年度 昭和41年度 昭和41年度 昭和48年度 平成6年度 平成10年度
施設管理業務	空調機・自家発電機・医療ガス設備・昇降機点検 機械設備管理・運転監視・空調設備保守等	昭和45年度 平成10年度
消防設備関係	外観・機能点検1回、総合点検1回	昭和45年度
検査業務	一般・血液・生化学・血清・細菌検査	昭和45年度
医 事 業 務	診察データの入力・診療報酬請求書・行為別集計等の作成 臨床クラーク（病棟及び外来の医療業務上の事務補助） 初診受付・再診受付・外来会計受付・電算入力 事務当直業務（時間外患者受付） 医事業務（全面委託）	昭和52年度 平成1年度 平成1年度 平成2年度 平成5年度
給 食 業 務	調理・盛り付け・配膳・下膳・食器洗浄等 給食材料の発注及び検収等	平成7年度 平成23年度
情報システム運用業務	総合医療情報システム管理運用業務	平成10年度
物 流 管 理 業 務	S P D（物流管理）・滅菌業務	平成10年度
院 内 保 安 警 備	院内の保安警備、駐車場管理業務 防災センター監視業務ほか	昭和43年度 平成10年度
放射性物質濃度法定測定	作業環境法に基づく測定業務	平成1年度
電 話 交 換 業 務	電話交換・院内放送業務	平成10年度
感染性産業廃棄物処理	廃棄物処理法による感染性産業廃棄物の処理	平成4年度
医事データ遠隔地保管	医事データのバックアップを外部で保管	平成13年度
そ の 他	歯科技工、害虫駆除、植木剪定、解剖臓器処理、カーテン賃貸借、院内保育室調理業務等、夜間保育（平成25年）、入院セット（平成30年）	

7 図 書 室

平成 30 年度は、大きく雑誌の電子化を図りました。文献複写の多くを大学図書館に依頼をしていましたが、近年謝絶件数の増加傾向に伴い、検討の結果、電子ジャーナルの導入に方向転換を図りました。図書室のホームページも平成 29 年、平成 30 年と改良を重ねています。

4 月には「医書 jp」を導入し同時に「医中誌 Web」をオールアクセスプランへ契約変更し電子リソースの見直しも行いました。

冊子体購読誌数を 240 誌から段階的に平成 30 年には、和雑誌 39 誌、洋雑誌 13 誌まで削減しました。この事により蔵書の保管と管理が容易になりました。

また、平成 31 年 2 月には「川崎市立川崎病院院内看護研究集録」、「川崎市立川崎病院事例研究集録」を ISSN（国際標準逐次刊行物番号）に登録し、「Medical Online」医学文献配信サービスに「川崎市立川崎病院事例研究集」が収載されました。

「つつじ文庫」は、平成 14 年に発足以来多くの患者様に利用されています。1 階「つつじ文庫」の場所が 3 月に正面玄関から 1 階下りエスカレーター脇に移動しました。市民皆様のご支援のもと蔵書数は、平成 30 年度現在 38,649 冊となっています。

平成 30（2018）年度図書室資料受入状況

区 分	購 入	寄 贈	計
単行書（和）	197	59	256
単行書（洋）	2	0	2
雑誌（和）	39	59	98
雑誌（増刊・別冊のみ）	16	0	16
雑誌（洋）	13	0	13
視聴覚資料	0	0	0
年報・報告書	0	13	13
雑誌所蔵目録	0	2	2
検索用データベース	3	0	3
医中誌Web			
メディカルオンライン			
最新看護索引web			
臨床支援ツール	1	0	2
Up To Date			
電子ジャーナル パッケージ			
Clinical Key	5	0	4
Ovid			
JAMA Network Complete Package			
医書 jp			
Journal Consult			
電子ジャーナル 個別タイトル	20		

平成 30 年度和雑誌購読（39 誌）

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1 病院安全教育 | 21 厚生 の 指標 |
| 2 地域連携入退院支援 | 22 救急医学 |
| 3 中毒研究 | 23 Monthly Book Derma=デルマ |
| 4 電気と工事 | 24 日本病院会雑誌 |
| 5 栄養と料理 | 25 Nutrition Care |
| 6 エキスパートナース | 26 PEPARS |
| 7 外来看護 | 27 Phase 3：最新医療経営 |
| 8 月刊 保険診療 | 28 クインテッセンス・デンタル・インプラントロジー |
| 9 月刊 ナーシング | 29 臨床栄養 |
| 10 月刊 ナースマネージャー | 30 臨床看護記録 |
| 11 月刊 新医療 | 31 臨床精神薬理 |
| 12 ほすびたるらいぶらりあん | 32 整形外科 別冊 |
| 13 ICNR | 33 精神科治療学 |
| 14 医学のあゆみ | 34 設備と管理 |
| 15 医学図書館 | 35 歯界展望 |
| 16 重症集中ケア | 36 神経内科 |
| 17 看護技術 | 37 小児看護 |
| 18 看護実践の科学 | 38 ヴィジュアル・ダーマトロジー |
| 19 看護展望 | 39 全国自治体病院協議会雑誌 |
| 20 緩和ケア | |

平成 30 年度和雑誌（増刊・別冊）購読誌（15 誌）

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1 レジデント | 9 日本臨床 |
| 2 ブレインナーシング | 10 レジデント |
| 3 エマージェンシーケア | 11 レジデントノート |
| 4 ハートナーシング | 12 整形外科看護 |
| 5 Infection Control | 13 糖尿病ケア |
| 6 Journal of Clinical Rehabilitation | 14 透析ケア |
| 7 呼吸器ケア | 15 YORI-SOU がんナーシング |
| 8 救急・集中治療 | |

平成 30 年度購読洋雑誌（13 誌）

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 American Journal of Sports Medicine | 8 Clinical Infection Diseases |
| 2 Annals of Internal Medicine | 9 Diabetes Care |
| 3 Arthritis & Rheumatology | 10 Journal of Neurosurgery |
| 4 Arthritis Care & Research | 11 Journal of Orthopaedic Science |
| 5 Bone & Joint Journal | 12 Laryngoscope |
| 6 Cancer | 13 Sports Health |
| 7 Cancer Cytopathology | |

平成 30 年度寄贈和雑誌（52 誌）

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 旭中央病院年報 | 5 北海道農村医学会雑誌 |
| 2 Circulation Journal | 6 茨城県救急医学会雑誌 |
| 3 Clinical Pediatric Endocrinology | 7 Japanese Journal of Maxillo Facial Implants |
| 4 Dementia Japan | |

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 8 神奈川県医学会雑誌 | 31 日本臨床外科医学会雑誌 |
| 9 川崎市医師会医学会誌 | 32 日本老年医学会雑誌 |
| 10 Keio Journal of Medicine | 33 日本産科婦人科学会雑誌 |
| 11 共済医報 | 34 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 |
| 12 Hagoya Medical Journal | 35 日本整形外科学会雑誌 |
| 13 奈良県総合医療センター医学誌 | 36 日本生殖医学会雑誌 |
| 14 NEUROINFECTION | 37 日本歯科医師会雑誌 |
| 15 Neurosonology | 38 日本小児科学会雑誌 |
| 16 日本病院総合診療医学会雑誌 | 39 日本透析医学会雑誌 |
| 17 日本エイズ学会誌 | 40 日本東洋医学雑誌 (Kampo Medicine) |
| 18 日本顎関節学会誌 | 41 日本頭痛学会誌 |
| 19 日本外科学会雑誌 | 42 日赤医学 |
| 20 日本医師会雑誌 | 43 脳卒中 |
| 21 日本女性医学学会雑誌 | 44 臨床評価 |
| 22 日本化学療法学会雑誌 | 45 臨床医薬 |
| 23 日本口腔科学会雑誌 | 46 臨床核医学 |
| 24 日本骨粗鬆症学会雑誌 | 47 臨床血液 |
| 25 日本救急医学会雑誌 | 48 臨床薬理の進歩 |
| 26 日本救急医学会雑誌 関東地方会雑誌 | 49 社会保険旬報 |
| 27 日本内分泌学会雑誌 | 50 島津評論 |
| 28 日本内科学会雑誌 | 51 帝京医学雑誌 |
| 29 日本内視鏡外科医学会雑誌 | 52 東京都医師会雑誌 |
| 30 日本農村医学会雑誌 | |

平成 30 年度神奈川県・川崎市年報・報告書（13 誌）

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1 神奈川県立がんセンター年報 | 8 川崎市立多摩病院年報 |
| 2 川崎市健康安全研究所年報 | 9 川崎市立川崎病院看護部看護研究集録 |
| 3 川崎市立看護短期大学紀要 | 10 川崎市立川崎病院看護部事例研究集録 |
| 4 川崎市立看護短期大学年報 | 11 川崎市立川崎病院看護部活動実績 |
| 5 川崎市政策情報かわさき | 12 川崎市医師会医学会誌 |
| 6 川崎市立井田病院年報 | 13 川崎市における気管支喘息患者実態調査報告 |
| 7 川崎市立川崎病院年報 | |

8 平成 30 年 看護部概況

平成 30 年度は、新規採用職員 54 名を迎え、看護職員 609 名（正規職員）が、4 年ぶりに新しくなった白衣を身にまとい、新年度をスタートさせました。

前任の綱嶋副院長兼看護部長の意思を引き継ぎ、新たな組織体制が始動し、間もなく飛び込んできた「施設基準に係る適時調査」のお知らせ。川崎病院の全職員が一丸となり、準備から当日の対応に取り組んだ結果、無事に乗り越えることができました。改めて、川崎病院の団結力と、日頃からの職務への責任感と努力を再認識する機会となりました。

そして、今年度の診療報酬改定において、地域包括ケアシステムという言葉が大きく取り上げられるようになってきました。急速に高齢化が進む中、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、看護職員が舵取りをしながら各部門とチーム連携を図り、取り組んでまいりました。今年度は、認知症ケアチーム・ワーキンググループを立ち上げ、職員が認知症を理解した上で、対応、支援していけるよう、専門領域の職員が中心となり体制作りをし、その成果として「認知症ケア加算」の届出をすることもできました。また、入院時から退院後の生活を見据え、患者の QOL が向上を目指し、リハビリテーション科との連携を図り、早期からのリハビリ、また病棟リハビリの拡充等に取り組むことができました。常に「その人らしさ」を大切に、様々な専門家と共に、多様で複雑なニーズを持つ方々の思いに触れ、力を引き出す場を増やすことができた一年だったと思います。

また、働く場と働き方が多様化している現状の中、全ての看護職員が自己の成長に向けキャリアデザインを考え自律していくことが求められています。今年度、日本看護協会版「看護師のクリニカルラダー」を基盤とした川崎病院版「キャリアラダー」を川崎・井田両病院の全師長が協働し、作成いたしました。約 10 年ぶりの改定であり、今後の人材育成の礎として活用していきたいと思っています。

また、今後の在宅医療等を支えていく看護師を計画的に養成していくことを目的として、保健師助産師看護師法の一部が平成 27 年に改正され、特定行為に係る看護師の研修制度が創設されました。これまでも、研修受講については、病院局・両病院で検討を重ねてまいりましたが、いよいよ特定行為研修修了者誕生に向け、組織が承認し動き始めました。在宅医療のみならず、高度急性期医療を担っている、当院看護職員にとっても、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識の修得及び常に技能の向上を図ることは、チーム医療を推進していく上で重要なことだと感じています。

来年度は、平成から新たな元号となる変化の年となります。社会そして医療界も、ますます変化をしていくことでしょう。そのような状況の中でも、私たち看護職員の、患者さんに寄り添い、真摯に取り組む姿勢は変わらないと信じています。

副院長兼看護部長 千島 美奈子

(1) 看護職員配置数

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

項目 看護単位	許可 病床数	稼動 病床数	助産師 看護師	臨時 職員	夜勤人員		看護 助手	クランク (委託)
					準夜	深夜		
	713	647						
看護部配置数			601					
看護部 4 月現在現在数			605					
14 階北病棟(内科・透析室)	52	42	34	0	4	4	4	1
14 階南病棟(内科)	51	46	30	0	4	4	5	1
13 階北病棟(心外・循環器内科)	51	46	32	2	4	4	5	1
13 階南病棟(内科)	53	48	32	0	4	4	4	1
12 階北病棟(泌・耳・眼・口腔)	51	46	26	1	3	3	2	1
12 階南病棟(脳・皮・放・リハ)	53	48	30	1	4	4	5	1
11階北病棟(外科)	53	48	31	1	4	4	5	1
11階南病棟(外科・肺外科)	53	48	31	2	4	4	3	1
10 階北病棟(整形外科・形成外科)	53	48	26	2	3	3	5	1
10 階南・感染症病棟 (婦人科・整形外科・感染症)	64	59	26	2	3	3	4	1
9階北病棟 (精神科)	38	33	12	6	3	2	1	1
9階南病棟 (EICU・救命救急病棟・小児急病センター)	20	20	60	6	12	11	5	1
8 階北病棟 (産科・新生児)	44	42	24	3	4	4	3	1
8 階南病棟・小児科外来	41	41	26	3	4	3	1	1
NICU	6	6	11	3	2	2	1	1
GCU	18	18	12	3	3	3	0	0
5 階 ICU・CCU	12	8	25	1	4	4	1	1
5 階 手術室			41	0	2	2	0	1
外 来	A ブロック		32	26	0	0	4	31
	B ブロック							
	C ブロック							
副院長(看護部長)室			1					
看護部管理室			6					
担当課長・看護師長			1(再掲)					
看護師長			18(再掲)					
外部配置			10					
産休・育休・病休・休職・派遣研修			49					

(2) 職員の出身校別内訳・年齢分布・平均年齢

ア 出身校別内訳

(平成31年3月31日現在)

種別	学校 人数	看護大学	助産師校	看護短期 大学	看護専門 学校	准看学校
総 数	586	91	26	145	321	3
構成比(%)	100%	16%	4%	25%	55%	1%
助 産 師	29	3	26	0	0	0
構成比(%)	5%	1%	4%	0%	0%	0%
看 護 師	554	88	0	145	321	0
構成比(%)	95%	15%	0%	25%	55%	0%
准看護師	3	0	0	0	0	3
構成比(%)	1%	0%	0%	0%	0%	1%

イ 年齢分布

年齢	助産師	看護師(准看護師含む)	計
21	0	2	2
22	0	21	21
23	1	33	34
24	2	16	18
25	2	28	30
26	0	28	28
27	1	24	25
28	1	19	20
29	3	26	29
30～34	5	77	82
35～39	4	64	68
40～44	2	63	65
45～49	3	86	89
50～54	3	31	34
55～59	2	33	35
60～	0	8	8
合計	29	557	586

ウ 平均年齢

(平成31年3月31日現在)

助産師	看護師(准看護師含む)	総平均
36.5	36.8	36.8

(3) 勤続年数

【 助産師：9.2年 看護師(准看護師含む):10.2年 総平均: 9.7年 】

(平成31年3月31日現在)

年数	助産師	看護師 (准看護師含む)
1年未満	3	52
1年	6	38
2年	2	38
3年	1	40
4年～5年	1	55
6年～9年	5	94
10年～14年	2	87
15年～19年	2	48
20年～24年	2	42
25年～29年	3	27
30年以上	2	36

(4) 平成30年度看護職員採用・退職状況

採用者数	54	助産師4・看護師50
退職者数	59	助産師6・看護師53

(5) 通勤及び入寮状況

(平成31年3月31日現在)

通 勤	541	91.9%
入 寮	48	8.1%

9 患者総合サポートセンター

1 地域医療連携

地域の医療機関の皆様からの受付や相談窓口として、また、顔の見える密接な地域連携を目指し、以下の業務を行い連携強化に努めています。

- ア 外来診療の事前予約受付
- イ 地域の医療機関からの緊急受診受付と病床確保
- ウ 医療機器共同利用の予約受付
- エ かかりつけ医の相談、ご案内
- オ 診療情報提供書の管理
- カ 転院調整
- キ 連携登録医事務手続き
- ク 医療機関訪問の実施
- ケ 「診療のご案内」「地域医療連携便り」の発行
- コ 地域医療連携の会・研修会・市民公開講座の開催等

平成30年度 各種統計

紹介率・逆紹介率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紹介率	72.6	61.4	66.1	66.6	65.3	70.7	69.4	72.2	72.1	69.1	70.4	70.3	68.7
逆紹介率	82.0	68.2	76.9	72.4	70.8	88.9	77.3	77.5	98.9	91.3	81.4	79.9	79.8

地域医療連携業務（件）

	紹介予約	緊急受診	転院 (転入)	転院 (転出)	かかりつけ医 ご紹介	診療情報 依頼	診療情報 照会
件数	990	777	129	186	652	736	482

医療機器共同利用（件）

	CT	PET-CT	MRI	骨塩	骨 シンチ	上部 内視鏡	心 エコー	腹部 エコー	栄養 相談
件数	177	143	142	17	22	58	35	41	2

広報活動等

地域医療連携便り発行	6月、10月、12月、2月発行
外来診療担当表	連携登録医を中心に、毎月約550か所に発送

地域の医療従事者を対象とした研修の実施状況（医師）

	開催月日	名称	主催	内容
1	5月18日（金）	第26回川崎リウマチ・膠原病診療懇話会	内科、整形外科、皮膚科	症例検討会・病診連携報告 「乾癬性関節炎と関節リウマチの診断と治療」
2	5月24日（木）	川崎リウマチ膠原病セミナー	内科	講演「肺高血圧症の早期診断・早期治療」
3	6月22日（金）	川崎泌尿器科病診連携会	泌尿器科	講演「診療ガイドラインを読み込むー夜間頻尿と血尿についてー」 講演「前立腺がん連携パスについて」
4	6月26日（火）	第388回川崎小児科医会症例検討会	小児科	講演 1 5歳まで無症状で経過した先天性嚢胞性肺疾患の1例 講演 2 多呼吸、低血糖で搬送された新生児の一例 講演 3 非典型的な川崎病の臨床像から※Yersinia pseudotuberculosis ※感染と診断した7歳女児
5	9月12日（水）	川崎リウマチ膠原病セミナー	内科	講演 1 「チーム医療～川崎市立川崎病院での取り組み～」 講演 2 「リウマチ診療最新情報～IL-6阻害薬の可能性も含めて～」
6	11月16日（金）	川崎リウマチ膠原病セミナー	内科	講演 「シェーグレン症候群への最新アプローチ」
7	11月30日（金）	第27回川崎リウマチ・膠原病診療懇話会	内科、整形外科、皮膚科	症例検討会・病診連携報告 「関節リウマチ患者の手・肘の治療」
8	12月17日（月）	地域連携講演会	精神科	講演 1「地域における川崎病院の役割」 講演 2「救急病棟での看護の取り組み」
9	1月18日（金）	第7回リウマチ膠原病セミナー	内科	講演「ANCA 関連血管炎の診断と治療」
10	2月8日（金）	第7回 SKAR 研究会	内科	講演「ベーチェット病の臨床」
11	2月25日（月）	第9回幸・川崎病診NET	川崎病院	講演 1「関節リウマチの最新治療ストラテジー」 講演 2「人工知能で変わること変わらないこと 放射線科を中心に」

地域の医療従事者を対象とした研修の実施状況（看護師）

	開催月日	名称	主催	内容
1	5月7日(月)	知っとくナース	認定看護師会	事例から考える認知症看護
2	5月7日(月)	院内講演会 オープンセミナー	認定看護師会	カテーテル関連尿路感染症
3	6月6日(水)	院内講演会	認定看護師会	新人看護師のためのメンタルヘルス
4	6月22日(金)	出張講座	看護部	リハビリテーション栄養と 褥瘡予防の取り組み
5	7月4日(水)	院内講演会 オープンセミナー	認定看護師会	いつもとちがう。 これって脳卒中？
6	7月4日(水)	知っとくナース	認定看護師会	こんな時どうする？ ～急変時の看護～
7	7月20日(金)	地域ケア懇談会	地域連携部会	「病院と地域のかかわり」 ～つなぐつながるその人らしさを支 えるために～
8	7月27日(金)	出張講座	認定看護師会	嚥下機能評価と嚥下調整食の現状を 知る
9	9月5日(水)	知っとくナース	認定看護師会	高齢者の糖尿病看護 ～最新治療も踏まえて～
10	9月5日(水)	院内講演会 オープンセミナー	認定看護師会	冷静に迅速に！
11	10月3日(水)	院内講演会 オープンセミナー	認定看護師会	明日から役立つ嚥下の話し
12	11月7日(水)	知っとくナース	認定看護師会	排泄ケア及び尿失禁に関わる 皮膚トラブル
13	11月7日(水)	院内講演会 オープンセミナー	認定看護師会	こうすればよかったのか！ 痛みのケア
14	12月15日(土) 12月16日(日)	緩和ケア研修 看護師教育プログ ラム2018 ELNEC-J コアカリ キュラム	緩和ケア委員会	川崎で生きる人々を最後まで 支えるために

	開催月日	名称	主催	内容
15	1月7日（月）	認定看護師会	知っとくナース	話題の感染症の感染対策
16	1月7日（月）	院内講演会 オープンセミナー	認定看護師会	それって、実は心不全!
17	2月13日（水）	出張講座	看護部	摂食障害、嚥下障害、低栄養高齢者への食事介助
18	2月15日（金）	地域ケア懇談会	地域連携部会	「病院と地域のかかわり」 ～つなぐ つながる その人らしさを支えるために～
19	3月5日（火）	アドバンス・ケア・ プランニング研修 会	患者総合サポー トセンター	人生の最終段階における医療ケアの 決定プロセスに関するガイドライン について

2 相談・調整

相談・調整は、入退院支援、医療福祉相談、がん相談で構成されています。地域の保険医療機関や訪問看護ステーション等と連携を強化し、患者さんへの質の高い、きめ細やかな相談支援体制を整え、地域や社会の架け橋となれるように努めています。

（1）入退院支援

入院中の患者さんやご家族の思いに寄り添いながら、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、多職種と協働し、退院支援や調整を行っております。また、入院前からの支援や外来通院中の患者さんの在宅療養支援も行っております。

ア 入院患者さんの入退院支援・調整

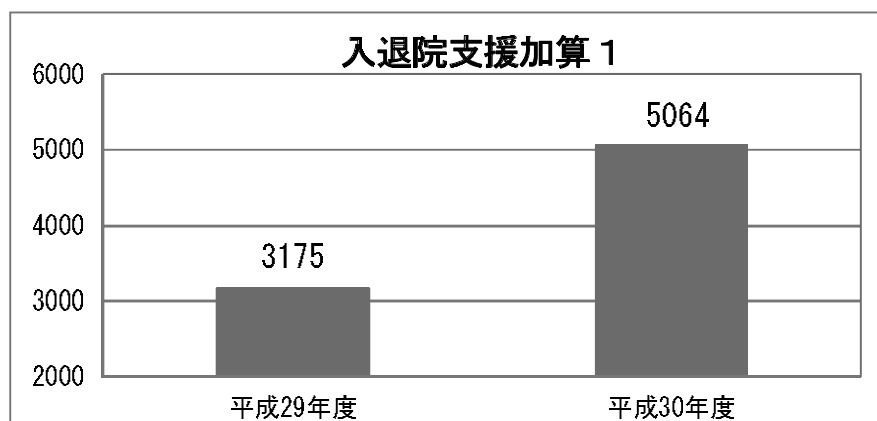
イ 外来通院患者さんの在宅療養支援

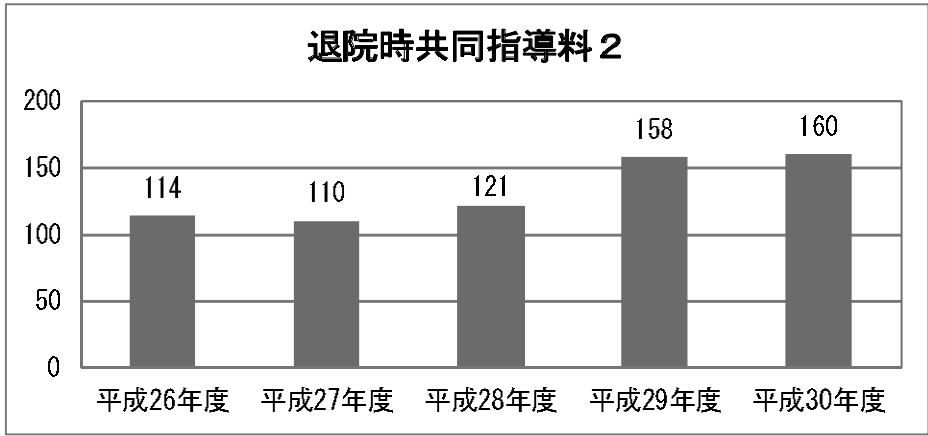
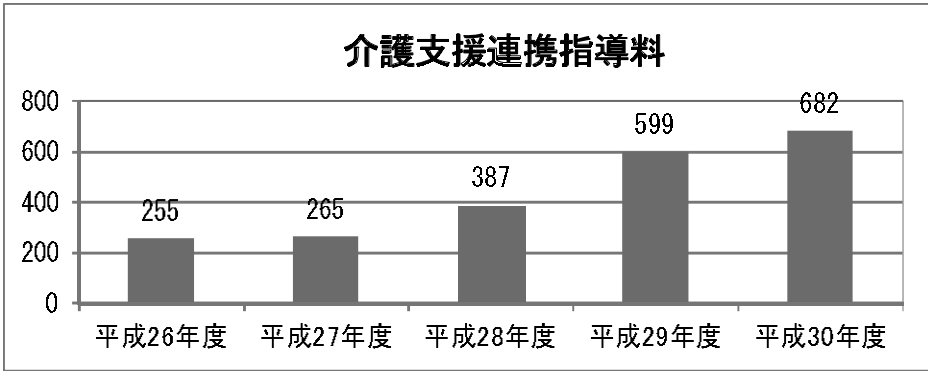
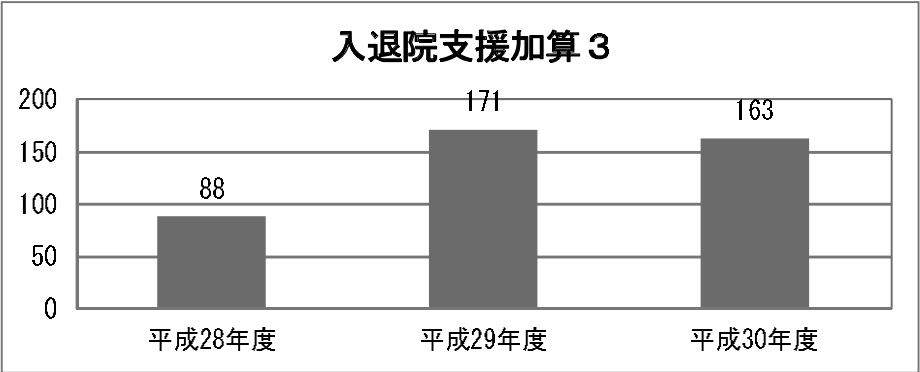
ウ 訪問診療、訪問看護導入等の相談・調整

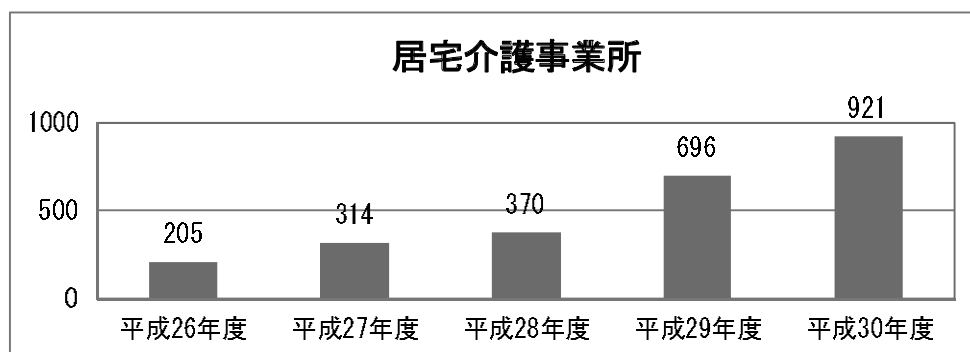
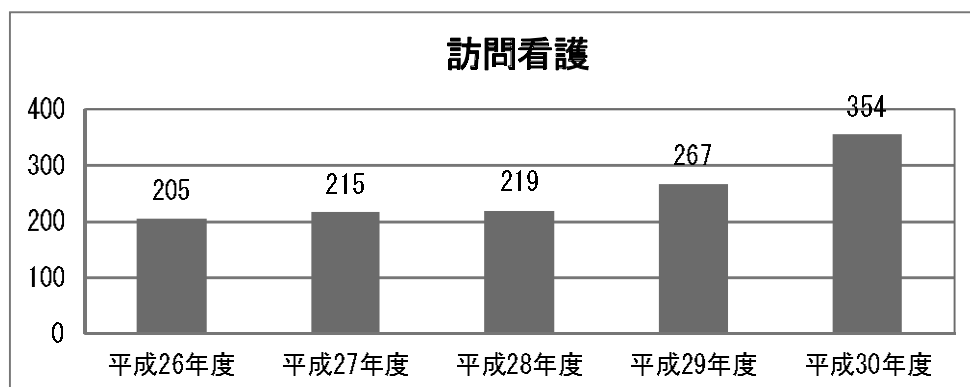
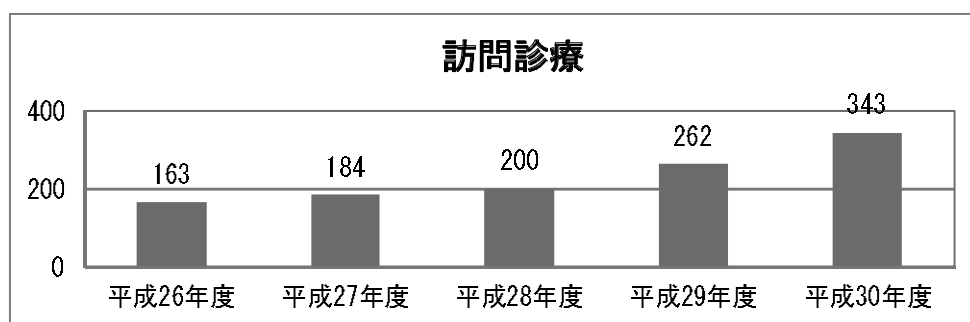
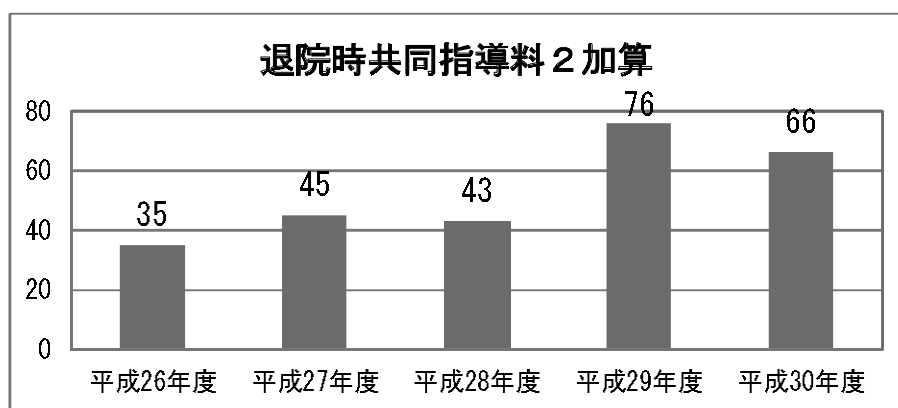
エ 医療機器、在宅酸素導入時の調整・支援

オ あんしん見守り受入調整

カ 在宅医療を支える地域のスタッフ向け「地域ケア懇談会」の企画・運営







(2) 医療福祉相談

病気やけがをきっかけに生じる生活上の問題について、医療ソーシャルワーカーが社会福祉の立場からご相談に応じています。患者さんやご家族と一緒に考え、問題解決の支援を行っています。また、転院調整や施設入所への調整も行っております。

- ア 医療費や生活費などの経済的不安
- イ 介護保険や障害者手帳などの医療・福祉制度の利用についての相談
- ウ 退院支援（転院・施設入所他）
- エ 医療通訳派遣依頼
- オ 重症心身障害児者短期入所事業の受入調整

医療福祉相談実績（件）

内 容	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
受療相談	177	179	220
自立支援短期入所	24	29	33
医療通訳派遣に関すること及び外国人の相談支援	675	832	813
虐待関係（高齢者・DV・児童）	27	21	24
産科・小児科関連の相談	34	19	35
経済的相談（医療費・生活費）	680	699	726
福祉サービス活用に関する相談	681	712	793
生活保護・緊急患者に対する医療費・福祉的援助	242	262	241
生保入院患者の保護費配布・病状調査依頼	88	136	85
退院調整定例カンファレンス	518	582	632
転院調整	765	814	866
重症心身障害児者短期入所事業	21	30	33
合 計	3932	4315	4501

医療通訳実績（件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
中国語	221	195	330
スペイン語	116	94	68
ポルトガル語	60	41	57
韓国、朝鮮語	31	15	8
タガログ語	4	36	48
タイ語	38	47	21
英語	169	204	313
ベトナム語	35	46	40
ロシア語	1	0	3
計	675	678	888

転院調整実績（件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
回復期リハビリ病棟	175	181	203
医療型療養病棟	65	85	74
一般病棟	51	66	63
緩和ケア病棟	56	53	64
地域包括ケア病棟	43	48	67
介護療養型医療施設	48	24	13
老人保健施設	31	27	15
特別養護老人ホーム	6	5	4
介護付住宅	43	65	166

地域連携クリニカルパス運用実績（件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
神奈川県脳卒中地域連携パス	23	32	32
大腿骨頸部骨折地域連携パス	38	29	24

在宅支援実績（件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
ショートステイ	21	32	33
安心見守り支援	1	1	1

（３）がん相談

患者さんやご家族等に信頼できる情報提供を行うことで、その人らしい生活や治療選択ができるように相談支援を行っています。

がんと診断されたときから、治療・症状の副作用・仕事・療養生活のこと等、どのようなことでも相談を受付けております。

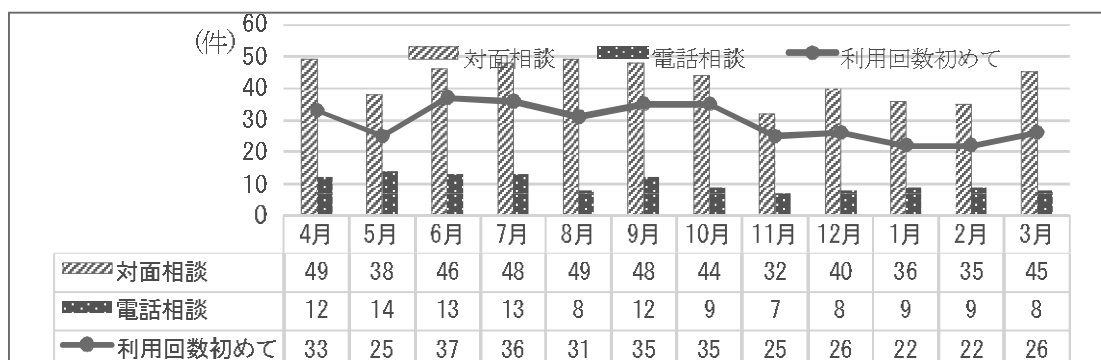
ア がん相談の実施（対面相談・電話相談）

イ がんに関する情報提供

ウ がん患者サロンの開催

平成 30 年度 各種統計

相談件数



対応内容別件数（複数回答）

傾聴・語 りの促 進・支持 的対応	情報提供	助言・提 案	自施設他 部署への 連携	ピアサポ ート機能 の紹介	他施設へ の連携	自施設受 診の説明	他施設受 診の説明
589	377	303	80	64	21	4	1

相談者のがんの部位の内訳（複数回答）

乳房	肺	胃	大腸	肝・胆	血液・ リンパ	子宮
140	130	72	70	65	57	53
卵巣・ 膣・外陰 部	膵	前立腺	腎臓・尿 管	骨・ 軟骨組織	耳鼻咽 喉・口腔	脳・神 経・眼
49	41	33	29	24	21	20
後腹膜・ 腹膜	食道	副腎	小腸・肛 門	甲状腺	皮膚	精巣
18	17	16	13	12	9	7

10 医療安全管理室

医療安全管理室は、安全な医療の提供と医療の質の向上を目的に、医療安全管理体制の確立及び医療事故の予防並びにインシデントの再発防止対策を推進しています。

各部署から報告されるインシデントレポート件数は年間 4,000 件を超えますが、報告されたレポートは集計・分析し医療安全関連の委員会で検討しています。さらに、警鐘事例や共有事例については再発防止策を立案し周知する必要があると、薬剤部や検査科・MEセンター等、各部門・各職種で連携しながら改善策を検討しています。医療機器の安全使用については、機器別に毎年勉強会を企画して医療機器の設定や管理について知識・技術の向上を目指しています。院内のシステム改善としては、システム運用検討部会と連携をとりながら課題に取り組んでいます。

昨今、社会的な問題である院内暴力・暴言対策としましては、職員衛生委員会と共同し、暴力暴言対応マニュアルの改訂、暴力・暴言対応研修の企画、運営を継続的に行っています。

医療行為を実施するに当たっては、患者・家族の意思を尊重し、納得の得られる説明と同意が不可欠です。医療者と患者・家族間では当然情報量に差があり、医療者には、患者・家族にとって理解しやすい表現で丁寧に説明する義務があります。医療安全管理研修等で啓蒙活動を行っています。

医療安全を推進するためには、多職種が連携し、専門性を発揮しながらチームとして力を高める必要があります。週 1 回実施している医療安全ラウンドは、各医療チームとの組織横断的な情報を共有し、現場の課題を検討する機会となっています。

(1) 平成30年度インシデントレポート報告件数ならびに対前年度年比

	平成 29 年度	平成 30 年度	増減	平成 30 年度 構成比
薬剤	1692	1627	▼65	37%
輸血	26	22	▼4	1%
治療・処置	621	640	19	15%
医療機器等の使用・管理	150	149	▼1	3%
ドレーン・チューブ類等の使用・管理	570	443	▼127	10%
検査	380	369	▼11	8%
療養上の場面	1032	1141	109	26%
その他	1	0	▼1	0%
合計	4472	4391	▼81	100%

複数の職員からレポートの提出があった場合は、1件として集計しています。

(2) 主な改善項目

項目	目的 改善内容
医療機器の使用・管理	・コネクター規格変更に伴うシリンジ変更（麻酔科） ・採血スピットトレイの検討
マニュアル	・インスリン注射ダブルチェック方法の変更 ・画像レポート未読防止対策
電子カルテ	・説明・同意書の改訂（代理人署名関連） ・ラテックス製品情報の電子カルテ掲載
暴言暴力への対応	・暴力・暴言対応研修 ・暴力・暴言発生時連絡先フローを作成、各部署に掲示
その他	・専攻医対象の中心静脈カテーテル穿刺研修 ・医療安全対策地域連携加算取得

11 DMA T活動

川崎病院は神奈川DMA T指定病院に指定されており、災害医療における専門的な技術や知識を備えた職員が勤務しています。また、国内で起きた災害において、神奈川DMA Tとして派遣され、現場で活動しています。

平成30年9月6日から10日にかけて平成30年北海道胆振東部地震により、札幌医療圏活動拠点本部及び千歳市総合福祉センター等へDMA Tロジスティックチームとして業務調整員1名を派遣し、医療ニーズの把握や転院搬送に係る調整等を行いました。

平成30年度も例年同様、大規模地震時医療活動訓練や関東ブロック訓練などの大規模訓練に参加するとともに、隊員養成に注力し、医師2名、看護師2名、業務調整員1名が新たに川崎DMA T隊員として登録されました。

また職員（災害時医療等専門部会員）に対するトリアージ実技訓練や、災害対策本部運営マニュアルの更新と検証を行い、当院における災害時の医療機能の強化にも努めました。

平成30年度の主な活動内容は次のとおりです。

活動日	活動内容	活動場所
平成30年5月20日	健康福祉局防災訓練	市役所第3庁舎
平成30年8月4日	大規模地震時医療活動訓練	香川県他
平成30年8月26日	ビッグレスキュー かながわ	海老名市
平成30年9月1日	九都県市合同防災訓練 災害医療対応訓練	川崎病院
平成30年9月6日～10日	北海道胆振東部地震への派遣	北海道札幌市・千歳市
平成30年10月13日	第77回川崎市制記念 多摩川花火大会	多摩川河川敷
平成30年10月18日	東京国際空港航空機事故対応 総合訓練	東京国際空港
平成30年11月9日	首都直下型地震防災訓練	東扇島地区（川崎市内）
平成30年11月30日	緊急消防援助隊関東ブロック 合同訓練	川崎病院
平成30年12月8日～9日	関東ブロックDMA T訓練	千葉県
平成31年2月2日	テロ災害対応訓練	川崎大師・平間寺
平成31年2月3日	川崎区災害時保健医療 活動訓練	川崎区役所

12 定例院内会議

(1) 三役会議

病院長、事務局長、副院長④、救命救急センター所長、患者総合サポートセンター副所長、庶務課長、医事課長 週1回

(2) 運営会議

病院長、事務局長、副院長④、各科部・課(科)長、担当部・課(科)長 月2回

(3) 各種委員会

(平成31年3月1日現在)

番号	委員会名 活動内容	委員長名	役職名	統括 開催予定
1	倫理委員会 (脳死判定委員会)	宮川 俊一 (野崎 博之)	副院長 (内科部長)	宮川副院長 (小柳副院長)
	*医療行為に関し、倫理的・社会的観点から審査等を行う。			必要に応じて開催
	病院(経営)改善委員会	成松 芳明	病院長	病院長
2	*経営改善及び調査等を行い検討する。			必要に応じて開催
	病院機能再編推進委員会	大曾根 康夫	副院長	大曾根副院長
3	*病院内の各部署の再編について調査及び検討する。			月1回
	医療安全管理委員会 (医療安全管理部会)	宮川 俊一 (萬谷 京子)	副院長 (乳腺外科部長)	宮川副院長 (宮川副院長)
4	*医療事故を防止し、安全かつ適切な医療体制を確立する。			月1回
	職員衛生委員会	大曾根 康夫	副院長	大曾根副院長
5	*職員の労働衛生に関する事項を調査審議し、衛生管理の推進を図る。			月1回
	院内感染対策委員会 (感染対策部会)	坂本 光男 (細田 智弘)	感染症内科部長 (感染症内科副院長)	宮川副院長 (宮川副院長)
6	*院内感染の防止のため、諸問題を調査及び審議する。			月1回
	医療ガス安全管理委員会	佐山 宏一	呼吸器内科部長	病院長
7	*高圧ガス保安法に基づき、院内医療ガスの安全を検証及び推進する。			年2回
	放射線安全委員会	成松 芳明	病院長	病院長
8	*放射線障害の防止について、必要事項を調査及び審議する。			年1回
	診療録管理委員会	土橋 隆俊	小児科部長	小柳副院長
9	*診療録の管理と診療情報の提供を行うために、必要事項を検討する。			月1回
	給食委員会	有馬 功一郎	血液透析室長	宮川副院長
10	*栄養業務及び給食業務の管理運営について検討する。			月1回
	治験審査・臨床研究倫理審査委員会	津村 和 大	糖尿病内科部長	大曾根副院長
11	*治験を行うことの適否、その他治験に関する調査及び審議する。			月1回
	輸血療法委員会	和多田 晋	血管外科部長	小柳副院長
12	*輸血関連業務等の必要事項を検討する。			隔月
	臨床検査業務検討委員会	杉浦 仁	検査科部長	病院長
13	*臨床検査の精度管理を行う。			必要に応じて開催
	業務改善委員会	宮川 俊一	副院長	宮川副院長
14	*職場環境を整え、患者サービスの充実と医療の向上を図るために、必要事項を検討する。			年9回
	機種選定委員会	小柳 貴裕	副院長	小柳副院長
15	*購入する医療用器機の仕様決定又は機種の選定を行う。			必要に応じて開催
	クリニカルパス検討委員会	津村 和 大	糖尿病内科部長	大曾根副院長
16	*チーム医療の機能と効率性を高めるために、必要事項を検討する。			隔月
	薬事委員会	早川 和 弘	薬剤部長	宮川副院長
17	*薬事全般に関する事項について審議する。			年9回
	保険委員会 (DPCコーディング部会)	成松 芳明 (野崎 博之)	病院長 (内科部長)	病院長 (病院長)
18	*診療報酬の請求に対する査定等について検討し、経営効率の向上に努める。			月1回
	情報システム管理委員会 (システム運用検討部会)	野崎 博之 (檜林 敦)	内科部長 (小児科医長)	大曾根副院長 (大曾根副院長)
	*医療情報システムの管理及び運用について検討する。			必要に応じて開催
19	手術部委員会 (外来手術室部会)	小柳 貴裕 (和多田 晋)	副院長 (血管外科部長)	小柳副院長 (小柳副院長)
	*手術部門の安全かつ円滑な運営をするために、必要事項の検討、調査審議及び提言を行う。			月1回
	ICU・CCU運営委員会	逢坂 佳 宗	集中治療部長	小柳副院長
20	*ICU・CCUの安全管理と集中治療室としての機能を発揮できる運営を推進する。			年4回

番号	委員会名 活動内容	委員長名	役職名	統括 開催予定
22	医療材料等委員会 ＊医療材料等の採用・死蔵化の防止、使用の効率化及び試用に関する事項を検討する。	末 吉 浩一郎	循環器内科部長	宮川副院長 月1回
23	地域医療連携推進・強化委員会 (地域連携部会) ＊病院と地域の連携を図り、情報の共有化及びネットワーク作りを検討及び推進する。	中 道 憲 明 (中田 さくら)	整形外科担当部長 産科部長・婦人科部長	大曽根副院長 大曽根副院長 隔月
24	がん診療推進委員会 ＊がん診療の充実と推進のための検討を行う。	夏 錦 言	消化器外科部長	病 院 長 必要に応じて開催
25	褥瘡対策委員会 ＊褥瘡対策を討議し、その効率的な推進を図る。	宮 川 俊 一	副 院 長	宮川副院長 月1回
26	救急医療運営委員会 (災害時医療等専門部会) (DMAT作業部会) (院内救急部会) (当直業務検討部会) ＊救急部門及び災害時医療対策について、必要事項を検討する。	田 熊 清 継 (竹村 成秀) (竹村 成秀) (齋藤 豊) (上田 誠司)	救命救急センター所長 (救命救急センター副医長) (救命救急センター副医長) (救命救急センター医長) (整形外科部長)	田熊所長 田熊所長 田熊所長 田熊所長 田熊所長 月1回
27	化学療法委員会 ＊外来治療センターの運営に関する必要事項を検討する。	澤 藤 誠	呼吸器外科部長	小柳副院長 月1回
28	広報委員会 ＊広報雑誌とホームページの作成を中心に、病院の広報活動の推進を図る。	峰 谷 貴	心臓血管外科部長	病 院 長 年1回
29	接遇教育委員会 ＊職員の接遇教育の充実を図り、患者サービスの充実と医療の質向上を図る。	千 島 美奈子	副院長・看護部長	千島副院長 隔月
30	ボランティア推進委員会 ＊ボランティア活動を円滑化して、患者サービスの充実及び向上を図る。	千 島 美奈子	副院長・看護部長	千島副院長 隔月
31	精神科救急医療検討委員会 ＊精神科救急医療を円滑に実施するために、必要事項を検討する。	齋 藤 寿 昭	精神科部長	田熊所長 必要に応じて開催
32	病院機能評価検討委員会 ＊病院機能評価の受審等に関する事項について検討する。	市 東 昌 也	外科部長	小柳副院長 必要に応じて開催
33	医療機器安全管理委員会 ＊医療機器の安全使用のための情報収集、医療機器の安全使用のための研修の策定及び実施、医療機器の保守点検の計画の策定。	森 田 慶 久	麻酔科部長	病 院 長 隔月
34	糖尿病診療連携委員会 ＊糖尿病の診療連携について検討する。	津 村 和 大	糖尿病内科部長	大曽根副院長 月1回
35	チーム医療推進委員会 (SCU部会) (栄養サポートチーム(NST)) ＊チーム医療について討議し、その効率的な推進を図る。	小 柳 貴 裕 (阿部 玲音) (阿部 玲音)	副 院 長 (リハビリテーション科部長) (リハビリテーション科部長)	小柳副院長 (小柳副院長) (小柳副院長) 必要に応じて開催
36	緩和ケア委員会 ＊緩和ケアについて検討する。	夏 錦 言	消化器外科部長	大曽根副院長 月1回
37	外来診療委員会 ＊外来診療について検討する。	相 浦 浩 一	内視鏡センター所長	宮川副院長 隔月
38	虐待対策委員会 ＊児童虐待に関する諸問題を調査及び審議する。	土 橋 隆 俊	小児科部長	田熊所長 必要に応じて開催
39	行動制限最小化委員会 ＊精神科入院患者の隔離・拘束・通信制限などにつきその妥当性を検討する。	齋 藤 寿 昭	精神科部長	宮川副院長 月1回
40	内視鏡委員会 ＊医療従事者の診療検査体制及び診療情報共有による質の高い円滑な医療提供を図る。	相 浦 浩 一	内視鏡センター所長	宮川副院長 隔月
41	教育研究委員会 (研修管理委員会) (研究部会) (図書部会) ＊研修医の教育支援と管理、臨床研究支援、図書の整備、業績管理を行う。	成 松 芳 明 (小宮 浩一郎) (津村 和夫) (玉井 博修)	病 院 長 整形外科担当部長 糖尿病内科部長 消化器内科部長	病 院 長 病 院 長 病 院 長 病 院 長 年2回
42	精神科身体合併症管理委員会 ＊精神科身体合併症患者の診察・治療において院内連携を円滑にするための調整を行う。	齋 藤 寿 昭	精神科部長	宮川副院長 月1回
43	働き方改革推進委員会 ＊医師の負担軽減及び処遇の改善に資する計画の作成や達成状況の評価等を行う。	成 松 芳 明	病 院 長	病 院 長 年2回

